このテレビの修理、お取扱い方法について、ご不明な点がありましたら、「ソニーテクニカルインフォメーションセンター」にご相談ください。

ソニーテクニカルインフォメーションセンター（直通番号）

- **ナビダイヤル** …………………… 0570-00-6470
  （全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）
- **携帯電話・ＰＨＳでのご利用は** …… 0586-25-6470
  （ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）

受付時間：月～金曜日 ９:００～２０:００　土・日・祝日 ９:００～１７:００

上記の「ソニーテクニカルインフォメーションセンター」に電話がつながりにくい場合やお買い物相談については、下記の「お客様ご相談センター」にお問い合わせください。
下記の「お客様ご相談センター」への修理、お取扱い方法についてのご相談は、自動音声ガイダンスにしたがって、まずは＜２：使用方法や故障と思われるご相談＞を、次に＜商品カテゴリー＞の番号を押してください。
専門の相談員が対応します。

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

ホームページ　● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

「ソニードライブ」は、ソニーの商品情報とライフスタイルをご提案するホームページです。
「良くあるご質問」「修理情報」「ショッピング情報」は、ホームページをご活用ください。

お客様ご相談センター

- ナビダイヤル* …………………… 0570-00-3311
  （全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）
- 携帯電話・PHSでのご利用は* ……… 03-5448-3311
  （ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）
- FAX …………………………………… 0466-31-2595

受付時間：月～金曜日 9:00～20:00　土・日・祝日 9:00～17:00

*お電話は自動音声応答にてお受けし, 内容に応じて専門の相談員が対応します。
はじめにご用件を下記より、次に音声案内にそって商品カテゴリーの番号を押してください。
選択番号は変更になることがありますので、ご容赦願います。
1：修理受付
2：使用方法や故障と思われるご相談
3：お買物相談
4：その他のご相談

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川 6-7-35

この説明書は100%古紙再生紙を使用しています。

Printed in Japan

SONY

2-680-538-**02**(1)

BRAVIA

操作・困ったときは編

別冊の「設置・接続編」もご覧ください。

液晶デジタルテレビ 取扱説明書

KDL-32V2000
KDL-40V2000
KDL-46V2000

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「設置・接続編」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

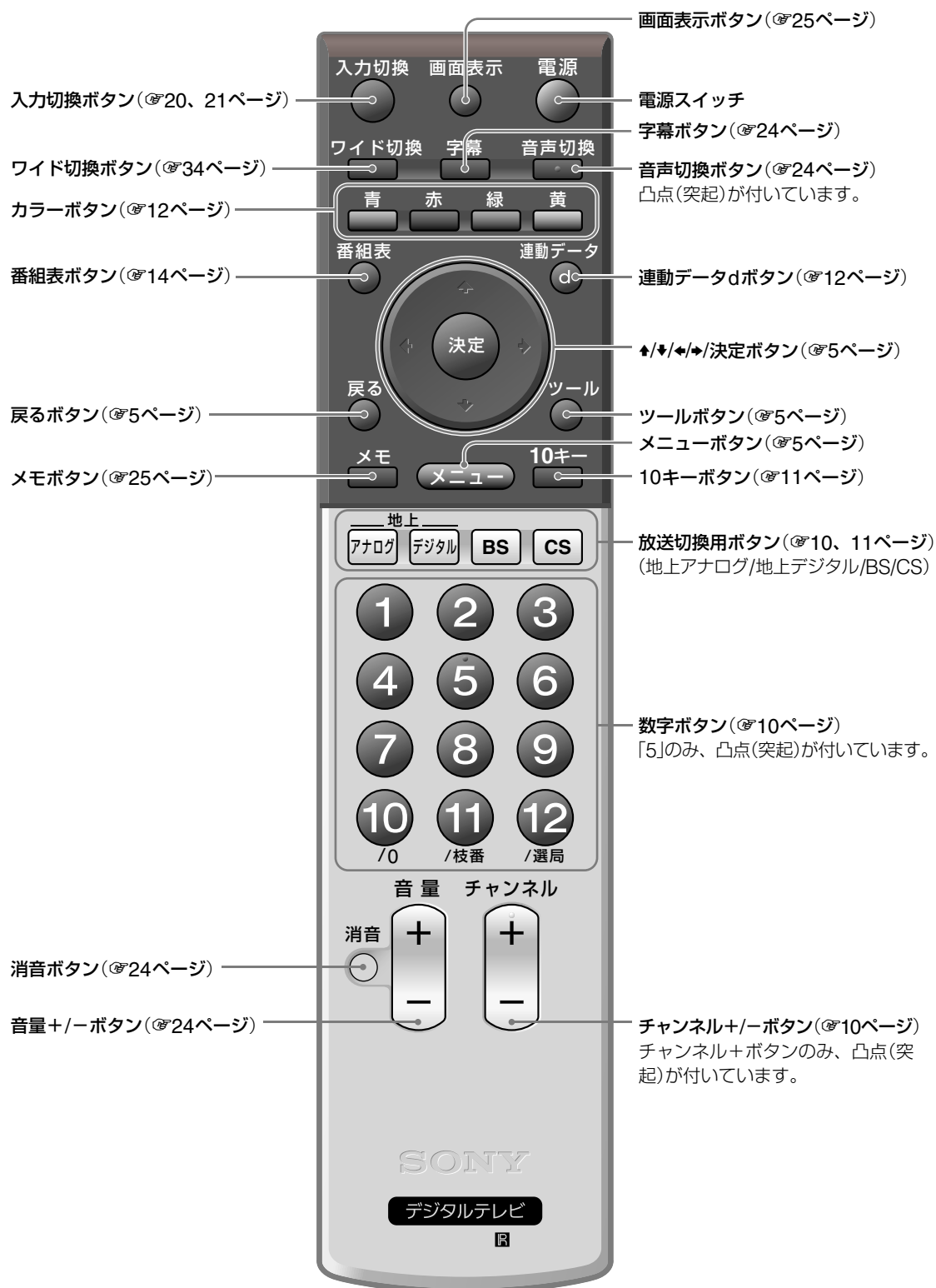
目次　操作・困ったときは編

オススメ:使ってみると、簡単・便利なおすすめ機能です。
テレビの設置や他機器との接続については、別冊の「設置・接続編」をご覧ください。

※受信設定については「設置・接続編」をご覧ください。

この取扱説明書に記載されている番組表や番組説明などに表示されている番組はフィクションであり、実際の放送局での放送内容や、実際の人物、地名などとは関係ありません。

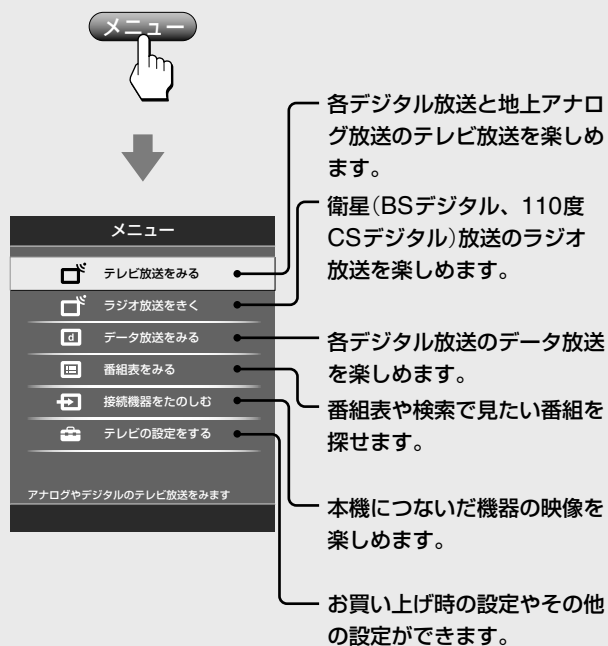
リモコンの使いかたガイド

リモコン操作ボタン

メニュー・ツールを使う

リモコンのメニューボタンとツールボタン、↑/↓/←/→/決定ボタンを使って、画面を見ながら操作できます。本機で行う操作の多くは、このメニューとツールを使います。

メニューを操作する

いろいろな放送を見る、聞く、ビデオやDVDを見る、お買い上げ時の設定をするなど基本の操作が一覧表示されます。

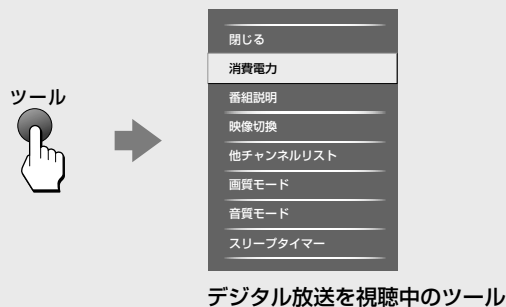
メニューボタンを押して、メニューを出す。

↑/↓で項目を選んで、決定を押す。

次の画面が表示されるので、引き続き↑/↓/←/→/決定で操作します。

ツールを使う

そのときできる便利な機能を表示できます。表示された「できること」を選べば、通常の手順より早く操作できます。

ツールボタンを押して、ツールを出す。

デジタル放送を視聴中のツール

↑/↓で項目を選んで、決定を押す。

次の画面が表示されるので、引き続き↑/↓/←/→/決定で操作します。

この取扱説明書では、ツールからできることを、以下のマークで紹介しています。

各部の名前

本機上面・前面・左側面

本機上面

決定ボタン☞5ページ/入力切換ボタン☞20、21ページ

メニューボタン☞5ページ

◆/◆☞5ページ/
音量＋/－ボタン☞24ページ

メニュー　決定　入力切換　－ 音 量 ＋　－ チャンネル ＋　電 源

電源スイッチ

本機前面

◆/◆☞5ページ/
チャンネル＋/－ボタン*1☞10ページ

消画/通信/タイマー　スタンバイ　電 源

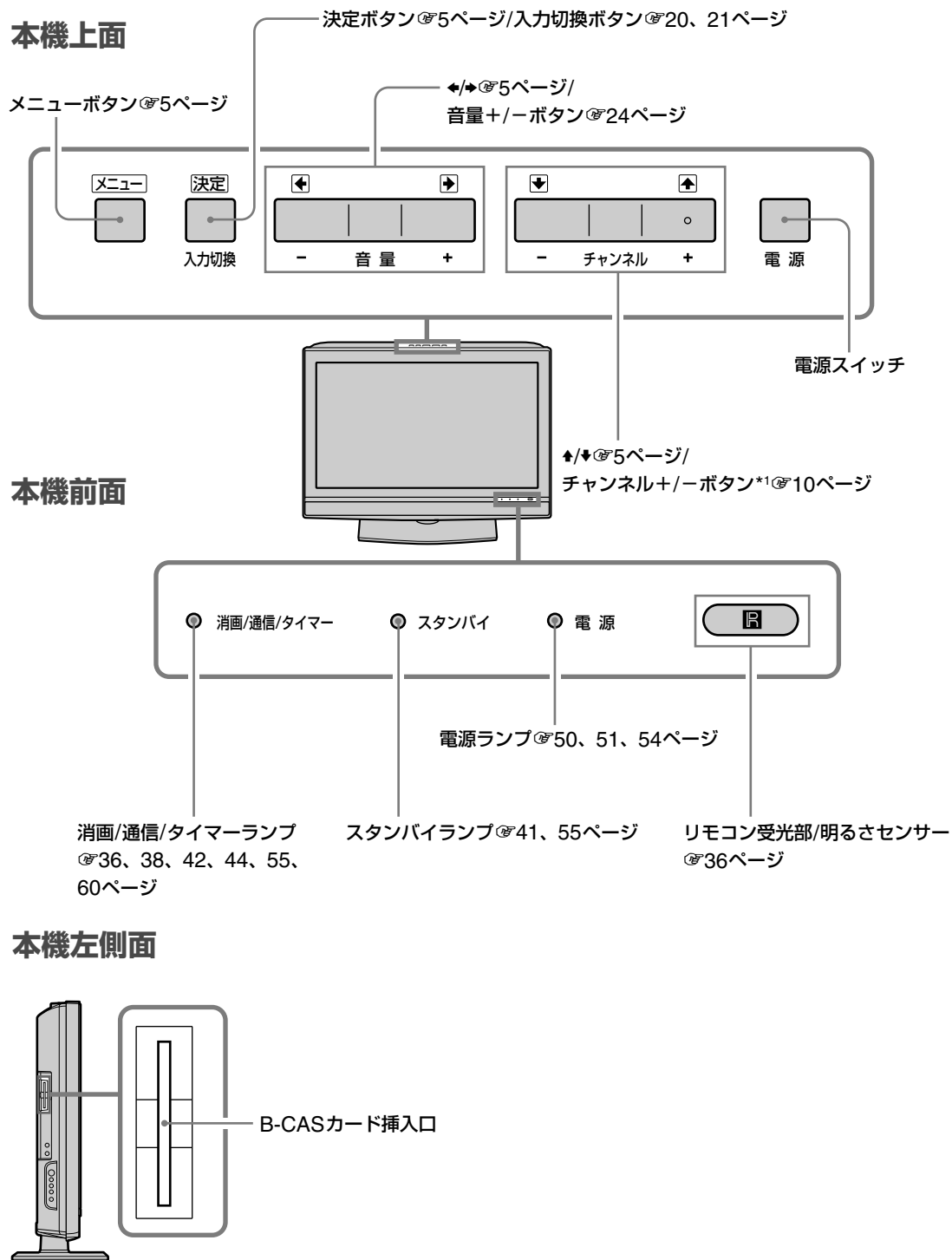
電源ランプ☞50、51、54ページ

消画/通信/タイマーランプ
☞36、38、42、44、55、
60ページ

スタンバイランプ☞41、55ページ

リモコン受光部/明るさセンサー
☞36ページ

本機左側面

B-CASカード挿入口

端子について詳しくは、☞「設置・接続編」をご覧ください。

ご注意

リモコン受光部/明るさセンサーの前には物を置かないでください。

ちょっと一言

*1 の付いたボタン（チャンネル＋ボタン）の上には、凸点（突起）が付いています。操作の目印として、お使いください。

ランプの点灯について

主電源「切」のとき

○ 消画/通信/タイマー　○ スタンバイ　○ 電 源

電源スタンバイ中/PCパワーマネジメント中（☞37ページ）

赤点灯

○ 消画/通信/タイマー　● スタンバイ　○ 電 源

電源が入っているとき

緑点灯

○ 消画/通信/タイマー　○ スタンバイ　● 電 源

消画中（☞36ページ）

緑点灯　緑点灯

ダウンロード中（☞60ページ）**/データ取得中**（☞55ページ）

オレンジ点滅　赤点灯

通信中（☞「設置・接続編」の「準備4：電話回線につなぐ」）

オレンジ点滅　緑点灯

衛星アンテナ電源のショートなど（☞50、51、54ページ）

緑点滅

○ 消画/通信/タイマー　○ スタンバイ　● 電 源

自己診断表示（☞41ページ）

赤点滅

○ 消画/通信/タイマー　● スタンバイ　○ 電 源

主電源「切」以外のときは、上記に加えて、次のランプも点灯します。

スリープタイマー /オンタイマー作動中（☞38ページ）

ただし、消画中は緑色に点灯します。

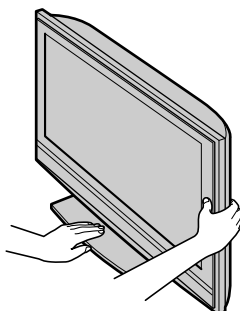
オレンジ点灯

ご注意

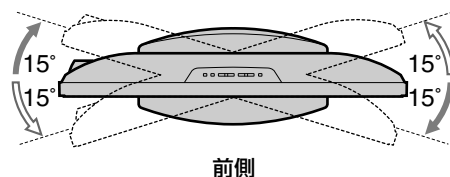
主電源を「切」にしないで電源コードを抜くと、点灯しているランプがしばらくついたままになりますが、故障ではありません。

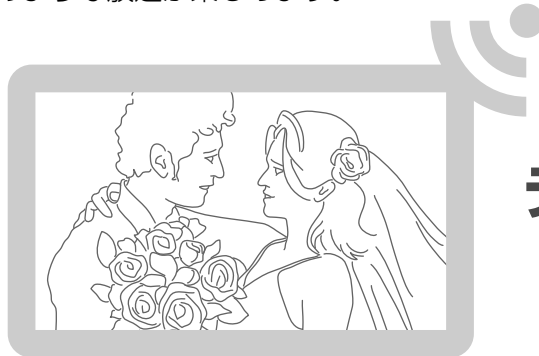
見やすい角度に調節する［スイーベル］

ご注意

本体とスタンドの間に手や指をはさまないように動かしてください。調節するときは、壁などにぶつからないようにしてください。

角度を調節するときは、スタンド部分がずれたり、浮いたりしないように手で支えて固定してください。

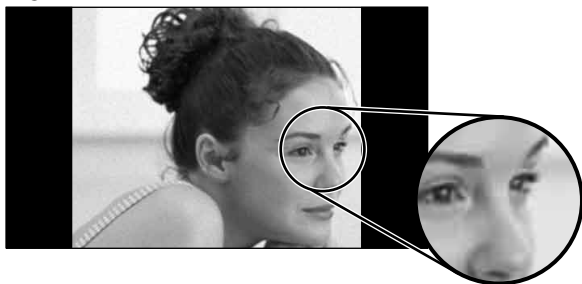
本体画面の向きを左右に調節する（スイーベル）

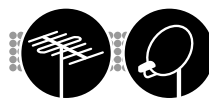
上から見た図

本機で楽しめる放送について

本機では、以下のような放送が楽しめます。

テレビ放送

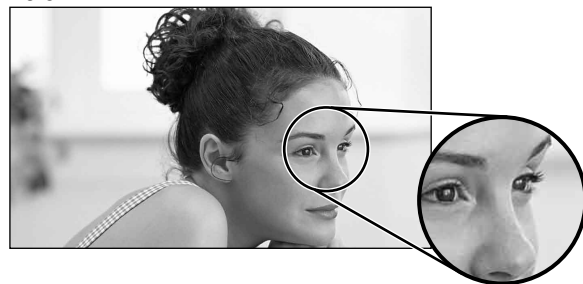
地上アナログ放送（従来のテレビ放送）

従来よりの地上アナログを引き続きご覧いただけます。

本機では、オートワイド機能を使って、横縦比4:3の映像を本機のワイド画面にひろげて違和感無く見ることができます。

… 10ページ（選局について）
… 34ページ（オートワイドについて）

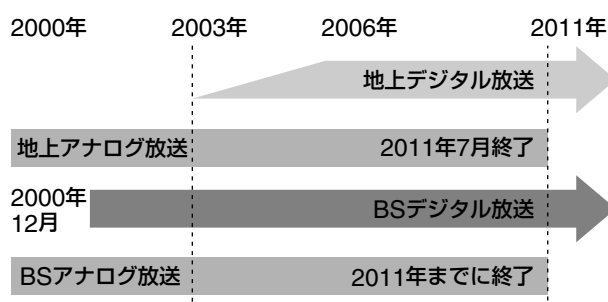
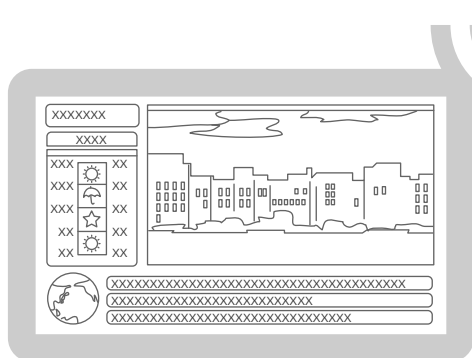
地上デジタル BSデジタル 110度CSデジタル

デジタル放送

デジタル放送の高画質·高音質で多彩な番組をご覧いただけます。デジタルハイビジョン放送やサラウンド音声のある番組では、臨場感あふれる映像·音声をお楽しみいただけます。

本機では、番組表や検索機能を使って、デジタル放送のたくさんのチャンネルの中から簡単にお好みの番組を選ぶことができ、番組説明で各番組の詳しい情報も見ることができます。

… 11ページ（選局について）
… 14ページ（番組表について）

アナログ放送からデジタル放送への移行

地上デジタルは、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部地域で2003年12月より放送開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。地上アナログは2011年7月*1に、BSアナログは2011年*1までに放送が終了することが、国の方針として決定されています。

*1 2006年3月現在の情報です。

データ／ラジオ放送

地上デジタル　BSデジタル　110度CSデジタル

データ放送

デジタル放送のデータ放送をご覧いただけます。これまでは見るだけが主流だったテレビですが、簡単なリモコン操作でクイズやアンケートに参加して双方向で楽しめます。また、テレビ番組に連動したデータ放送(連動データ放送)では番組に関連した情報や地域の情報などもご覧いただけます。他に、データ放送のみを専門にしている独立データ放送があります。

12ページ

BSデジタル　110度CSデジタル

ラジオ放送

衛星放送のラジオ放送を楽しめます。デジタル音声なので音質がCD並みにクリアな放送もあります。音楽番組以外にも語学やニュース、気象情報の番組も放送されています。
本機では、通常のステレオ音声の番組でも、サラウンド機能を使って、クリアで臨場感と迫力のある音声に再現してお聞きになれます。また消画機能を使って、映像を消して音声のみを楽しむこともできます。

13ページ(選局について)
32ページ(サラウンドについて)
36ページ(消画について)

従来の地上アナログ放送を見る

10キー選局するには

数字ボタンでチャンネル番号を入力して、チャンネルを切り換えられます。

例:48ch
④→⑧→⑫

あらかじめ、メニューの「選局」を「10キー」にしてください。
メニューから「テレビの設定をする」→「(アナログ放送設定)」→「選局」→「10キー」の順に選びます。

ご注意

- はじめて選局するときは、あらかじめチャンネルスキャンを行ってください（☞「設置・接続編」の「準備7：地上アナログ放送の設定をする」）。
- お買い上げ時はワンタッチ選局（ダイレクト）ができるようになっています。チャンネル番号で選局するには、あらかじめメニューの「選局」を「10キー」にしてください。

デジタル放送を見る
(地上デジタル、BSデジタル、110度CS(CS1、CS2)デジタル)

B-CASカードが本機に挿入されているかを確認してください(☞「設置・接続編」の「準備1:B-CASカード(デジタル放送用ICカード)を入れて登録する」)。

1 デジタル放送を選ぶ。

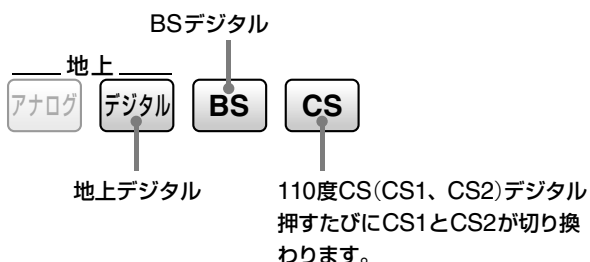
地上デジタル

110度CS(CS1、CS2)デジタル
押すたびにCS1とCS2が切り換わります。

2 チャンネルを選ぶ。

数字ボタンに登録されているチャンネルに切り換える。

または

チャンネルを順送りで切り換える。

10キー選局するには

10キーボタンを押したあと、数字ボタンでチャンネル番号を入力して、チャンネルを切り換えます。メニューでの設定などは必要ありません。

例:011ch

10キー→10→1→1→12

枝番が付いているチャンネルを10キー選局するには(地上デジタルのみ)

例:101₂ch

10キー→1→10→1→11→2→12

ご注意

- はじめて地上デジタルを選局するときは、あらかじめチャンネルスキャンを行ってください(☞「設置・接続編」の「準備6:お買い上げ時の初期設定(デジタル放送かんたん設定)をする」または「準備9:地上デジタル放送の設定をする」)。
- 地上デジタルが放送開始されていない地域では、放送開始後にデジタル放送かんたん設定(☞「設置・接続編」の「準備6:お買い上げ時の初期設定(デジタル放送かんたん設定)をする」)を行ってください。

デジタル放送のデータ/ラジオ放送を楽しむ

データ放送を楽しむ

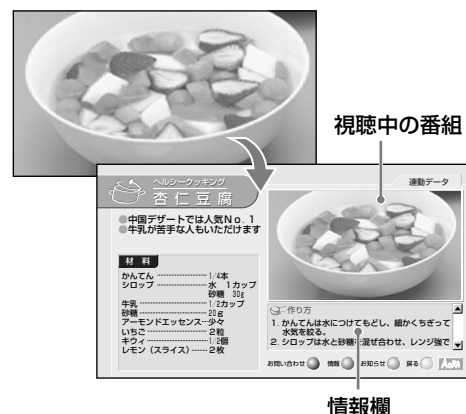
連動データ放送

デジタルテレビ放送に連動している内容で、データもあわせて楽しめます。
スポーツ中継を見ているときは、選手の成績を確認したり、料理番組を見ているときは、レシピを確認したりできます。

連動データ放送の例

1. **デジタル放送を見ているときに連動データdボタンを押す。**

   連動データ放送の画面に切り換わります。

2. **↑/↓/←/→やカラーボタン（青・赤・緑・黄）、戻るボタンなどを使って、画面に従って操作する。**

独立データ放送

データのみを専門に扱っている放送サービスを楽しめます。

1. **メニューボタンを押す。**
2. **↑/↓で「dデータ放送をみる」を選んで、決定を押す。**
3. **↑/↓で「地上デジタル放送」または「BSデジタル放送」、「CS1デジタル放送」、「CS2デジタル放送」を選んで、決定を押す。**
4. **チャンネル＋/－ボタンまたは数字ボタンでチャンネルを選ぶ。**
5. **↑/↓/←/→やカラーボタン（青・赤・緑・黄）、戻るボタンなどを使って、画面に従って操作する。**

独立データ放送の例

ちょっと一言

- あらかじめ電話回線の接続と設定を行ってください（☞「設置・接続編」の「準備4：電話回線につなぐ」と「準備14：電話回線を設定する」）。
- データ放送では、本機につないだ電話回線を使って通信を行う場合があります。通信中（消画/通信/タイマーランプがオレンジ色に点滅）は、電話機やファクシミリなど同一回線上の通信機器は使えません。また、電話料金がかかる場合があります。

ラジオ放送*1を楽しむ

衛星（BSデジタル、110度CSデジタル）放送で流れるラジオです。画像や連動したデータを楽しめるラジオ放送と、音声のみのラジオ放送があり、番組によっては、音楽CD並みの高音質で楽しめます。

1 メニューボタンを押す。

2 ↑/↓で「ラジオ放送をきく」を選んで、決定を押す。

3 ↑/↓で「BSデジタル放送」または「CS1デジタル放送」、「CS2デジタル放送」を選んで、決定を押す。

4 チャンネル＋/－ボタンまたは数字ボタンでチャンネルを選ぶ。

データ放送ではリモコンのボタンで項目を選んだり、数値を入力したりできます。画面の指示に従って操作してください。

カラーボタン

↑/↓/←/→/決定ボタン

戻るボタン

数字ボタン

- 郵便番号を設定していれば、データ放送でお住まいの地域の天気予報や地域情報なども見ることができます。

*1 地上デジタルにはラジオ放送はありません。

テレビを見ているときに、ツールでできること…

● 地上アナログ/デジタル放送視聴中

項目	できること
消費電力	消費電力を設定します（☞36ページ）。
番組説明*2	番組説明を表示します（☞19ページ）。
映像切換*2	映像を切り換えます（☞28ページ）。
他チャンネルリスト*2	他チャンネルリストを表示します（☞18ページ）。
画質モード	画質モードを切り換えます（☞30ページ）。
音質モード	音質モードを切り換えます（☞32ページ）。
時刻取得*3	デジタル放送に切り換えて、時刻情報を取得します。時計表示（☞25ページ）やオンタイマー（☞38ページ）を使うために必要です。
スリープタイマー	スリープタイマーを設定します（☞38ページ）。

*2 デジタル放送視聴中のみ
*3 地上アナログ視聴中のみ

見たい番組を探す

番組表で見たい番組を探す［チャンネル別番組表］/［時刻別番組表］

地上デジタル、BSデジタル、110度CS（CS1、CS2）デジタルの放送ごとに、放送局が送信する番組情報を元に、番組表を約1週間先まで見ることができます。

デジタル放送視聴中に、番組表（番組表）を押す。

見ている放送の、前回表示されていた番組表（チャンネル別番組表または時刻別番組表）が表示されます。

チャンネル別番組表

例：BSデジタルの番組表

黄で切り換え

時刻別番組表

例：BSデジタルの番組表

リモコンの番組表ボタンで番組表を表示し、↑/↓/←/→やカラーボタンで選んだり、切り換えたりして操作します。

番組説明を見るには

↑/↓で番組を選んで、決定を押します。

番組説明について、詳しくは「番組説明を見る」（☞19ページ）をご覧ください。

カラーボタンでできること

番組表を表示中にリモコンのカラーボタンで下記の操作ができます。

青：前日へ切り換えます。

赤：翌日へ切り換えます。

緑：番組表の放送（地上デジタル、BSデジタル、CS1デジタル、CS2デジタル）を切り換えます。

黄：チャンネル別番組表と時刻別番組表を切り換えます。

A 番組一覧
チャンネル別番組表では放送日時と番組名が、時刻別番組表ではチャンネルと放送時間、番組名が表示されます。
現在の時間は青く表示されます。
↑/↓で番組を選び決定を押すと、番組説明(☞19ページ)が表示されます。

B チャンネル表示欄
現在、番組表に表示中のチャンネル。
←/→で、番組表に表示したいチャンネルを選べます。

C 放送と放送サービス
デジタル放送の種類(地上デジタル、BSデジタル、CS1デジタル、CS2デジタル)と放送サービスの種類(テレビ、ラジオ、データ)。

D ↑/↓で選んだ番組の情報

E 操作ガイド表示欄
番組表を表示中にリモコンでできる操作をガイド表示します。
青:前日へ切り換えます。
赤:翌日へ切り換えます。
緑:番組表の放送(地上デジタル、BSデジタル、CS1デジタル、CS2デジタル)を切り換えます。
黄:チャンネル別番組表と時刻別番組表を切り換えます。
決定:番組説明を表示します。
ツール:ツールを表示します。
戻る:番組表を消します。

F リモコンの数字ボタン1〜12
ワンタッチで選局できます。

G 時間帯表示欄
現在、番組表に表示中の日付と時間帯。
←/→で、番組表に表示したい時間帯を1時間ごとに選べます。

マークの意味

字 :字幕放送(☞24ページ)
d :テレビやラジオと連動しているデータ放送(☞12ページ)
MV :マルチビュー放送(☞57ページ)
HD :デジタルハイビジョン信号HD(☞58ページ)
SD :標準テレビ信号SD(☞58ページ)
R :視聴年齢制限付き番組(☞「設置・接続編」の「視聴年齢制限を設定する・個人情報を消去する」→「暗証番号や視聴年齢制限を設定する」)
¥ :ペイパービューなど有料番組(☞27ページ)
シリーズ :野球中継や季節ごとの番組(毎週/毎回に属さないもの)

他に放送局から、番組の種類を表すマークが付いてくる場合があり、番組名の左側に表示されます。以下はその一例です。

二 :二か国語放送(☞58ページ)
S :ステレオ放送(☞58ページ)
字 :字幕放送(☞24ページ)
B :圧縮Bモード放送(☞58ページ)
N :ニュース番組

ツールでできること…

● 番組表表示中

項目	できること
選局*1	選局します。
テレビ/ラジオ/データ切換*2	番組表の放送サービス(テレビ、ラジオ、データ)を切り換えます。
番組情報取得	番組表で表示中の放送の番組情報をデータ取得します。

*1 放送中の番組を選んだときにのみ表示されます。
*2 地上デジタルの番組表を表示中は「ラジオ切換」は表示されません。

次のページにつづく⇨

見たい番組を探す（つづき）

番組検索で見たい番組を探す［ジャンル検索］/［キーワード検索］

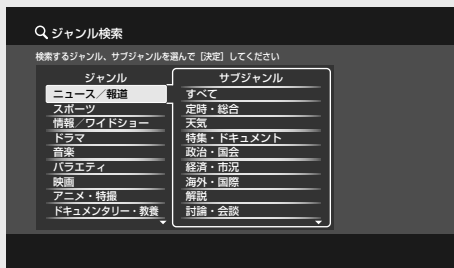
ジャンルやキーワードを指定して、最大200件までの番組を探すことができます。
キーワード検索では、新規にキーワードを登録したり、登録したキーワードから検索できます。なお、キーワード検索は番組説明の「番組概要」（☞19ページ）にキーワードが含まれている番組を検索するので、文字が完全に一致しないと検索できません。

ジャンルから検索する

1 デジタル放送視聴中に、メニュー（メニュー）を押す。

2 ↑/↓で「番組表をみる」を選んで、決定を押す。

3 ↑/↓で「ジャンル検索」を選んで、決定を押す。

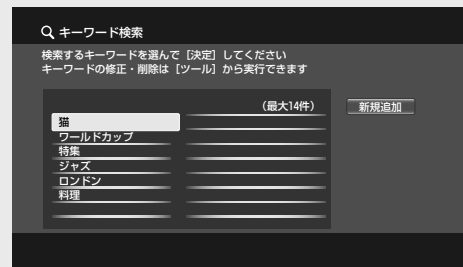
4 ↑/↓でジャンルを選んで、決定を押す。

5 ↑/↓でサブジャンルを選んで、決定を押す。
選んだサブジャンルの番組が開始時刻順に表示されます。

キーワードを登録して検索する

1 デジタル放送視聴中に、メニュー（メニュー）を押す。

2 ↑/↓で「番組表をみる」を選んで、決定を押す。

3 ↑/↓で「キーワード検索」を選んで、決定を押す。

4 ↑/↓/←/→でキーワードを選んで、決定を押す。

選んだキーワードを含む番組が開始時刻順に表示されます。

新たにキーワードを追加するには

1 デジタル放送視聴中に、メニューボタンを押す。

2 ↑/↓で「▤番組表をみる」を選んで、決定を押す。

3 ↑/↓で「キーワード検索」を選んで、決定を押す。

4 ↑/↓/←/→で「新規追加」を選んで、決定を押す。
ソフトウェアキーボードが表示されます。

5 ソフトウェアキーボードでキーワードを入力する
（☞28ページ）。
キーワードは最大で12文字まで入力できます。
キーワードは全部で14件まで登録できます。
キーワードの入力が終了するとキーワード検索に戻り、新しいキーワードが表示されます。

ツール ツールでできること…

● キーワード検索表示中

項目	できること
新規追加	新しいキーワードを追加できます。
修正	選んでいるキーワードを修正できます。
削除	選んでいるキーワードを削除します。

● 検索結果表示中

項目	できること
選局*[1]	選局します。

*1 放送中の番組を選んだときにのみ表示されます。

次のページにつづく⇨

見たい番組を探す（つづき）

他チャンネルの番組をチェックする

デジタル放送を視聴中に、他のチャンネルで放送中の番組を確認できます。

1 デジタル放送視聴中に、メニュー（メニュー）を押す。

2 ↑/↓で「番組表をみる」を選んで、決定を押す。

3 ↑/↓で「他チャンネルリスト」を選んで、決定を押す。

他チャンネルリストが表示されます。

A 他チャンネルリストで表示中の放送と放送サービス
←/→で放送を切り換えられます。

B 選んでいるチャンネル
↑/↓でチャンネルをスクロールできます。
決定を押すと、選んだチャンネルの画面になります。

C 選んでいるチャンネルで放送中の番組の情報
チャンネル、番組名、放送時間、ジャンルなどが表示されます。

ツールでできること…

● 他チャンネルリスト表示中

項目	できること
テレビ/ラジオ/データ切換*1	他チャンネルリストの放送サービス（テレビ、ラジオ、データ）を切り換えます。
番組情報取得	他チャンネルリストで表示中の放送の番組情報をデータ取得します。
番組表のチャンネル登録	他チャンネルリストに表示するチャンネルを登録します（☞「設置･接続編」の「準備10：地上デジタル放送のチャンネル設定をする」と「準備12：衛星（BS･110度CSデジタル）放送のチャンネル設定をする」）。 「番組表」チェック欄に✓が付いているチャンネルが、他チャンネルリストに表示されます。

*1 地上デジタルの他チャンネルリストを表示中は「ラジオ切換」は表示されません。

番組説明を見る

1 **デジタル放送視聴中に、ツール（ツール）を押す。**

2 **↑/↓で「番組説明」を選んで、決定を押す。**

視聴中の番組の番組説明が表示されます。

A **番組内容表示欄**
「1/8」は8ページ中の1ページ目の意味です。
キーワード検索（☞16ページ）は「番組概要」に含まれる言葉からキーワードを検索します。

B **マーク**（☞「**マークの意味**」）

C **番組の状況**
「開始前」や「終了」など

D **番組情報欄**
「**映像情報**」（☞58ページ）、「**音声情報**」（☞58ページ）、「**ジャンル**」（☞16ページ）、「**コピーコントロール**」（録画や録音についての情報☞61ページ）が表示されます。

E 「**選局**」
選局します。

マークの意味

- 字 ：字幕放送（☞24ページ）
- d ：テレビやラジオと連動しているデータ放送（☞12ページ）
- MV ：マルチビュー放送（☞57ページ）
- HD ：デジタルハイビジョン信号 HD（☞58ページ）
- SD ：標準テレビ信号 SD（☞58ページ）
- R🔒 ：視聴年齢制限付き番組（☞「設置･接続編」の「視聴年齢制限を設定する･個人情報を消去する」→「暗証番号や視聴年齢制限を設定する」）
- ¥ ：ペイパービューなど有料番組（☞27ページ）
- シリーズ ：野球中継や季節ごとの番組（毎週/毎回に属さないもの）
- 複数信号 ：第2映像など複数の映像/音声信号がある番組
- 契約済 / 未契約 ：放送事業者との契約が済んでいるかどうか（☞「設置･接続編」の「準備13：各放送局に視聴を申し込む」）

他に放送局から、番組の種類を表すマークが付いてくる場合があり、番組名の左側に表示されます。以下はその一例です。

- 二 ：二か国語放送（☞58ページ）
- S ：ステレオ放送（☞58ページ）
- 字 ：字幕放送（☞24ページ）
- B ：圧縮Bモード放送（☞58ページ）
- N ：ニュース番組

信号表示を見るには

番組説明を表示中に緑ボタンを押す。
番組説明に表示されている番組が持っている映像信号や音声信号を見ることができます。

放送開始前の番組の番組説明を見るには

1 **番組表ボタンを押す。**
番組表が表示されます。

2 **↑/↓で番組を選んで、決定を押す。**
選んだ番組の番組説明が表示されます。

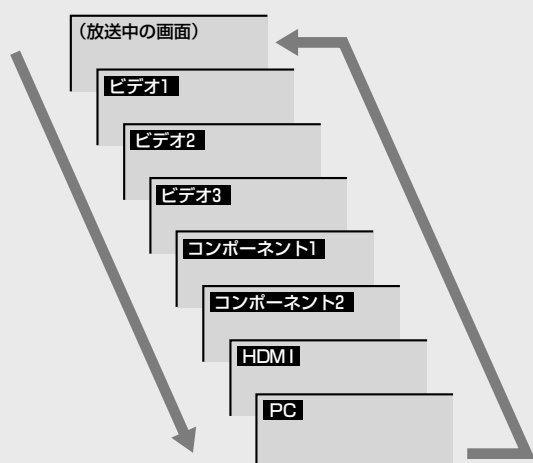
番組表について詳しくは、「番組表で見たい番組を探す［チャンネル別番組表］/［時刻別番組表］」（☞14ページ）をご覧ください。

DVDやビデオ、パソコンなどの映像を見る

つないだ機器の映像に入力を切り換える

入力切換（入力切換）を押す。

ビデオラベルを設定しているときは

設定した名称が表示されます。「使用しない」に設定している入力はとばして切り換わります。

ツールでできること…

● 外部入力視聴中

項目	できること
消費電力	消費電力を設定します（☞36ページ）。
画質モード	画質モードを切り換えます（☞30ページ）。
音質モード	音質モードを切り換えます（☞32ページ）。
時刻取得	デジタル放送に切り換えて、時刻情報を取得します。時計表示（☞25ページ）やオンタイマー（☞38ページ）を使うために必要です。
スリープタイマー	スリープタイマーを設定します（☞38ページ）。

つないだ機器の名前を表示する［ビデオラベル］

入力を切り換えたときなどに、つないだ機器に合わせて名前を表示させる設定ができます。「ー」を選ぶと、お買い上げ時の名前に戻ります。
各入力で別々に設定できます。

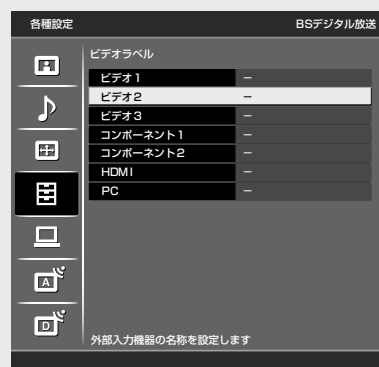
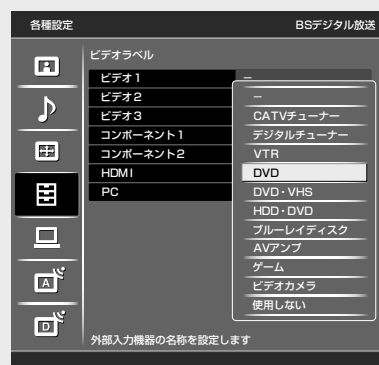
例:ビデオ2入力にDVDプレーヤーをつないだときに、名前を「DVD」に変更する。

1 メニュー（メニュー）を押す。

2 ↑/↓で「テレビの設定をする」を選んで、決定を押す。

3 ↑/↓で「(各種設定)」を選んで、決定を押す。

4 ↑/↓で「ビデオラベル」を選んで、決定を押す。

5 ↑/↓で「ビデオ2」を選んで、決定を押す。

6 ↑/↓で「DVD」を選んで、決定を押す。

入力切換ボタンを押したときに切り換わらないようにしたいときは、「使用しない」を選んでください。

パソコン(PC)の画面を見る

(入力切換)をくり返し押して、「PC」を表示させる。

ツールでできること…

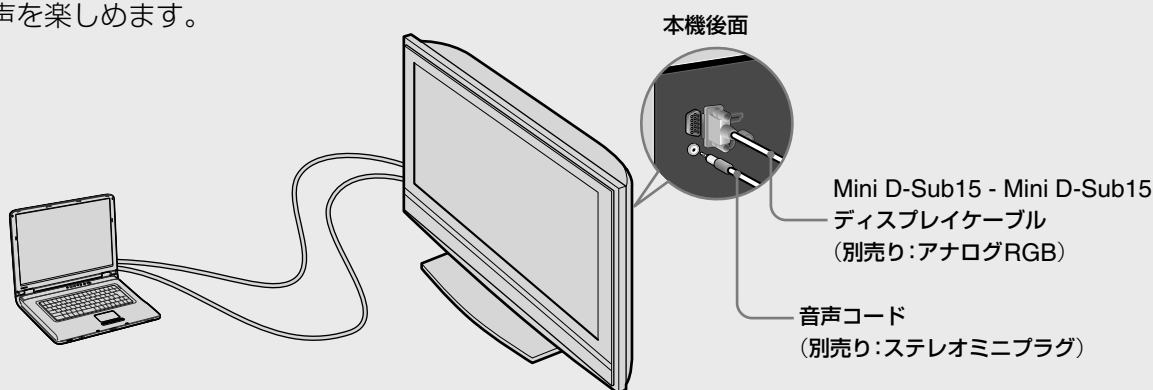
● PC入力表示中

項目	できること
消費電力	消費電力を設定します(☞36ページ)。
画質モード	画質モードを切り換えます(☞30ページ)。
音質モード	音質モードを切り換えます(☞32ページ)。
ワイド切換	画像サイズを切り換えます(☞22ページ)。
自動画調整	入力信号に合わせて、自動的に画面が最適になるように調整します(☞22ページ)。
水平位置	画像の水平位置を調整します(☞22ページ)。
垂直位置	画像の垂直位置を調整します(☞22ページ)。

つないだ機器の映像を楽しむ

パソコンをつなぐには

本機を別売りのディスプレイケーブルでパソコンにつなぐと、本機の画面にパソコンの画面を映し出すことができます。また、別売りの音声コードをつなぐと、本機のスピーカーでパソコンの音声を楽しめます。

「パソコン(PC)入力の設定をする」(☞22ページ)もご覧ください。

次のページにつづく⇨

Mini D-Sub15 - Mini D-Sub15 ディスプレイケーブルでつなげないパソコンをお使いのときは

必要に応じて市販のアダプターをお使いください。アダプターは、先にコンピューターに差し込んでから、ディスプレイケーブルにつなぎます。

DVDやビデオ、パソコンなどの映像を見る（つづき）

パソコン（PC）入力の設定をする

1 メニュー（メニュー）を押す。

2 ↑/↓で「テレビの設定をする」を選んで、決定を押す。

3 ↑/↓で「（PC設定）」を選んで、決定を押す。

4 ↑/↓で設定したい項目を選んで、決定を押す。

5 ↑/↓/←/→で設定して、決定を押す。

設定項目

選ぶ項目	できること
ワイド切換	**ノーマル**：オリジナルのサイズで表示します。 **フル1**：オリジナル映像の横縦比率を保ったまま、画面いっぱいに表示します。 **フル2**：オリジナルの映像をワイド画面いっぱいに表示します。
標準に戻す	お買い上げ時の設定に戻します。
自動画調整	入力信号に合わせて、自動的に画面が最適になるように調整します。 入力信号によっては、自動画調整により最適な画面にならない場合があります。その場合は手動で「フェーズ」や「ピッチ」、「水平位置」、「垂直位置」を調整してください。
フェーズ	画面にチラツキがある場合に調整します。
ピッチ*1	画像に縦じま状のノイズがある場合に調整します。
水平位置*1 垂直位置*1	画像の水平/垂直位置を調整します。
パワーマネジメント	「入」のときは、信号が入力されていないときに、自動的にパワーセーブ状態にします。

*1 入力信号によって、調整できる範囲が限られる場合があります。

上記の項目以外にも、画質のピクチャー、明るさ、バックライト、色温度や音質の調整ができます（☞30、32ページ）。

ご注意

パソコンによっては、対応信号を入力した場合でも、チラツキやノイズなどが出ることがあります。
その場合は、フェーズやピッチを調整してください。

PC入力対応信号表

解像度			水平周波数［kHz］	垂直周波数［Hz］	規格
信号名	水平［Pixel］	垂直［Line］			
VGA	640	480	31.5	60	VGA
	640	480	37.5	75	VESA
	720	400	31.5	70	VGA-T
SVGA	800	600	37.9	60	VESA Guidelines
	800	600	46.9	75	VESA
XGA	1024	768	48.4	60	VESA Guidelines
	1024	768	56.5	70	VESA
	1024	768	60.0	75	VESA
WXGA	1280	768	47.4	60	VESA
	1280	768	47.8	60	VESA
	1360	768	47.7	60	VESA

Sync on Green/Composite Syncには対応していません。
対応信号表以外の信号を入力した場合には、正常に表示されなかったり、設定ができない場合や設定値どおりに表示されない場合があります。
パソコンの垂直周波数は、60Hzでのご使用をおすすめします。
通常は、プラグアンドプレイにより、60Hzの垂直周波数が自動的に選ばれます。

リモコンの1つのボタンを押すだけの便利な機能

消音で電源を入れる［消音ポン］

1 **電源スタンバイ（スタンバイランプが赤色に点灯）中に、消音（消音）を押す。**

電源が入り、映像が出ますが、消音状態になります。

2 **音量＋ボタンを押す。**

音量＋ボタンを押すたびに、音量が上がります。

チャンネルボタンで電源を入れる［チャンネルポン］

電源スタンバイ（スタンバイランプが赤色に点灯）中に、①〜⑫/選局の数字ボタンを押す。

電源が入り、同時にチャンネルも切り換わります。また、下記のボタンを押しても、電源を入れられます。

チャンネル＋/－ボタン：電源が入ります。

地上アナログ/地上デジタル/BS/CSボタン：電源が入ると同時に各ボタンの放送に切り換わります。

音声を切り換える

音声切換（音声切換）を押す。

押すたびに音声信号が切り換わります。

例：第1音声を選んでいるとき

字幕放送を見る*1

字幕（字幕）を押す。

押すたびに字幕の言語が切り換わります。

例：第2言語の字幕

ご注意

消音ボタンで電源を入れたとき（消音ポン）に、もう一度消音ボタンを押しても、「消音」と表示され、元の音量には戻りません。音量＋ボタンを押して音量を上げてください。

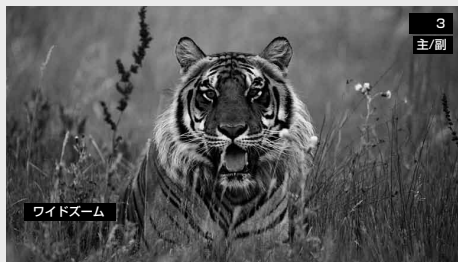
ちょっと一言

- チャンネルを切り換えたときは、第1音声に切り換わります。
- 字幕ボタンを押すと、番組に字幕があるかどうかに関わらず、「第1言語」または「第2言語」、「切」に切り換わります。次に字幕のある番組が放送されたときに切り換えた字幕が表示されます。

*1 字幕放送とはデジタル放送の映画やドラマなどの字幕のことです。

画面表示/時計表示を見る

画面表示 ●（画面表示）を押す。

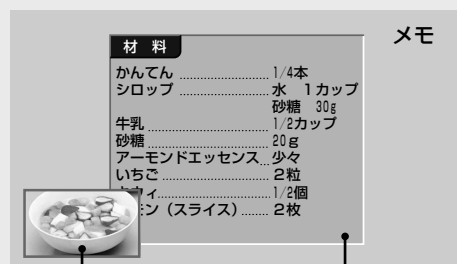
テレビの状態を確認できます。
1度押すと画面表示が出て、もう一度押すと時刻が表示されます。

時刻表示はデジタル放送の時刻情報を使用するため、**デジタル放送を受信しているとき**に表示できます。

時刻情報を取得するには

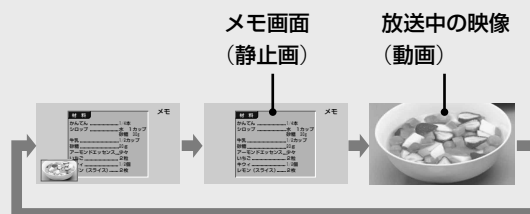
地上アナログを見ているときは、ツールから「時刻取得」を選ぶとデジタル放送に切り換わり、時刻情報を取得します（☞13ページ）。
デジタル放送を見ているときは、自動的に時刻情報を取得します。

画面をメモする

静止させたい場面が映っているときに、
メモ（メモ）を押す。

番組やビデオカメラレコーダーの映像、料理番組のレシピなど、メモをとりたい場面を静止させて見ることができます。

放送中の映像（動画）
↑/↓/←/→で画面の位置を移動できます。

メモ画面（静止画）

メモボタンを押すたびに、下記のように切り換わります。

ご注意

- ケーブルテレビ（CATV）でデジタル放送を受信しているときは、時刻情報を取得できないことがあります。
アンテナ線をつないでデジタル放送を受信しているときは時刻情報を取得できます。
- 番組によっては、メモ画面を表示したあとでメモボタンを押さなくても、自動で放送中の映像（動画）が閉じることがあります。
- ラジオ放送と独立データ放送およびPC入力のときはメモボタンは働きません。

ちょっと一言

- 「消費電力レベルバー表示」を「入」にしているときは（☞36ページ）、画面表示ボタンを押すと、消費電力レベルバーも表示されます。
- デジタル放送を見ているときに時刻情報を取得すると、そのあと、地上アナログを見ているときも、時刻表示ができます。

その他の便利な機能

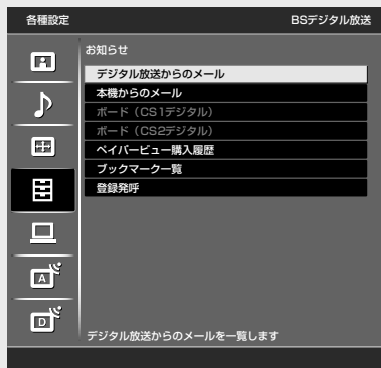
お知らせを見る

1 デジタル放送視聴中に、メニュー（メニュー）を押す。

2 ↑/↓で「テレビの設定をする」を選んで、決定を押す。

3 ↑/↓で「(各種設定)」を選んで、決定を押す。

4 ↑/↓で「お知らせ」を選んで、決定を押す。

5 ↑/↓で見たい項目を選んで、決定を押す。

メールマークの意味

(既読)：すでに読んだメール
(未読)：まだ読んでいないメール

(黄色)：本機からのメール
地上D(青色)：地上デジタルからのメール
BS(緑色)：BSデジタルからのメール
CS1(ピンク色)：CS1デジタルからのメール
CS2(ピンク色)：CS2デジタルからのメール

未読のメールがあるときは本体の電源スイッチで主電源を入れたときに、画面右下にが表示されます。
メールはお客様自身で削除できません。

選ぶ項目	できること
デジタル放送からのメール	放送局からお客様へのお知らせ（メール）を見ることができます。
本機からのメール	ダウンロードのお知らせなど、本機が発行したメールを見ることができます。
ボード（CS1デジタル） ボード（CS2デジタル）	110度CSデジタルの利用者全員へ共通のお知らせや番組案内などを見ることができます。あらかじめCSボタンを押して、CS1かCS2に切り換えてください。
ペイパービュー購入履歴	先月と今月分の購入概算額と最近購入した番組の一覧を確認できます。
ブックマーク一覧	お気に入りのデータ放送にブックマークを登録しておくと、一覧から選ぶだけで切り換えられます。ブックマークの登録はデータ放送の画面で「お気に入りに追加する」などの項目があるときにできます。
登録発呼	データ放送で、クイズ番組に回答を送ったり、アンケートに回答するなど放送局と通信して楽しむときに、回線が混んでいて通信できないことがあります。そのようなときは、あとで発信するように登録･予約できます。本体の電源スイッチで主電源を切らないでください。発呼に失敗すると発呼履歴一覧に△が表示されます。あらかじめ「設置･接続編」の「準備14：電話回線を設定する」を行ってください。

ツールでできること…

● ペイパービュー購入履歴表示中

項目	できること
全件削除*1	すべてのペイパービュー購入履歴を削除します。

● ブックマーク一覧表示中

項目	できること
リンク*2	選んだ項目にリンクします。
削除禁止/削除禁止解除	選んだブックマークを削除できないようにします。削除禁止にしているときは解除できます。
削除	選んだブックマークを削除します。
全件削除	すべてのブックマークを削除します。
期限切れ削除	期限の切れているブックマークを削除します。

● 登録発呼一覧表示中

項目	できること
発呼/発呼中止	発呼受付期間中は、すぐに発呼します。発呼中の番組は発呼を取り消せます。
詳細表示	詳細情報を見ることができます。
予約/予約取消	発呼受付開始前であれば、発呼の予約ができます。予約済みの番組は予約を取り消せます。
削除禁止/削除禁止解除	選んだ番組を削除できないようにします。削除禁止にしているときは解除できます。
削除	選んだ番組を削除します。

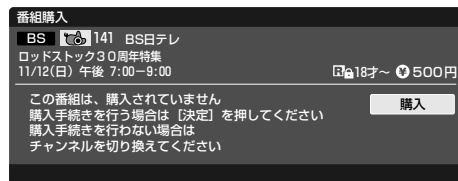
● 発呼履歴一覧表示中

項目	できること
全件削除*1	すべての発呼履歴を削除します。

*1 履歴があるときのみ
*2 メモと期限切れ以外の番組のとき

ペイパービュー(有料番組)*3を見る

ペイパービューの番組を選局する。

番組購入画面が表示されます。
↑/↓/←/→/決定で画面の指示に従って操作してください。
ペイパービューの購入概算額を見るには☞26ページをご覧ください。

順送りで選べるチャンネルを変更する［シームレス選局］

チャンネル+/−ボタンを押したときに、テレビ、ラジオ、独立データの放送サービスごとに、地上アナログ、地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタルのすべてのチャンネルを順送りで選べるように設定できます。

1. **メニューボタンを押す。**
2. **↑/↓で「テレビの設定をする」を選んで、決定を押す。**
3. **↑/↓で「(アナログ放送設定)」を選んで、決定を押す。**
4. **↑/↓で「チャンネル選局」を選んで、決定を押す。**
5. **↑/↓で「シームレス」を選んで、決定を押す。**
   シームレス:視聴中の放送サービス(テレビ、ラジオ、データ)の中で、すべてのチャンネルを順送りします。
   通常:(お買い上げ時の設定)視聴中の放送(地上アナログ、地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル)と放送サービス(テレビ、ラジオ、データ)の中で、チャンネルを順送りします。

次のページにつづく⇨

便利な機能

*3 ペイパービュー(PPV:PAY PER VIEW)とは「見るたびに支払う」の意味で、デジタル放送の番組単位で随時、視聴購入できる有料番組です。ペイパービューには、購入前に内容を確認(プレビュー:事前視聴)できる番組もあります。

その他の便利な機能（つづき）

映像を切り換える

1 **デジタル放送視聴中に、ツールボタンを押す。**

2 **↑/↓で「映像切換」を選んで、決定を押す。**
手順1、2を行うたびに、映像が切り換わります。

例：第2映像を選んでいるとき

文字スーパーの言語を切り換える

文字スーパーとはデジタル放送で文字で表示される臨時ニュースなどです。

1 **メニューボタンを押す。**

2 **↑/↓で「テレビの設定をする」を選んで、決定を押す。**

3 **↑/↓で「（デジタル放送設定）」を選んで、決定を2回押す。**

4 **↑/↓で「表示設定」を選んで、決定を押す。**

5 **↑/↓で「文字スーパー設定」を選んで、決定を押す。**

6 **↑/↓で「第1言語」または「第2言語」、「切」を選んで、決定を押す。**

電源を入れたときに静かな音で始まるようにする［サイレンススタート］

電源を入れたときに、徐々に音量が出るように設定できます。

1 **メニューボタンを押す。**

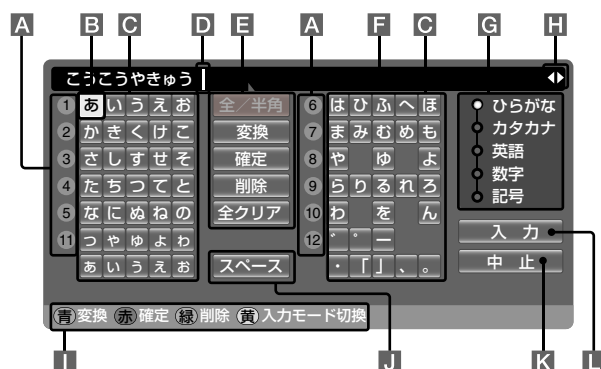
2 **↑/↓で「テレビの設定をする」を選んで、決定を押す。**

3 **↑/↓で「（各種設定）」を選んで、決定を押す。**

4 **↑/↓で「サイレンススタート」を選んで、決定を押す。**

5 **↑/↓で「入」を選んで、決定を押す。**

文字を入力する［ソフトウェアキーボード］

文字を入力する必要があるときに自動的に表示されます。

A リモコンの数字ボタンを押すと、同じ数字の行にフォーカスが移動します。さらにくり返し押すとフォーカスが移動し携帯電話のように入力できます。

B **フォーカス**

C **文字ボタン**
文字や記号を入力します。

D **カーソル**

E **編集用ボタン**
「**全/半角**」：英字や記号の全角、半角を切り換えます。
「**変換**」：入力した文字を漢字に変換します。
「**確定**」：文字を確定します。
「**削除**」：カーソルの右側の文字を削除します。ただし、カーソルが右端にあるときは、左側の文字を削除します。
「**全クリア**」：入力文字表示エリアにある文字をすべて削除します。

F **入力文字表示エリア**
入力中の文字が表示されます。
◣の位置までの確定後の文字が、キーワードなどとして設定されます。◣を超えたときは、確定時に文字列の後が削除されます。

G 入力できる文字の種類を変えて、ソフトウェアキーボードを表示します。
黄ボタンでもできます。

H **◀ ▶マーク**
入力文字表示エリアでカーソルを移動できるときに表示されます。

I **操作ガイド表示欄**
ソフトウェアキーボードを表示中にリモコンでできる操作をガイド表示します（☞29ページ）。

J **「スペース」ボタン**
スペース（空白）を入力します。

K **「中止」ボタン**
文字入力を中止して、元の画面に戻ります。入力文字表示エリアに表示されている文字は登録されません。

L **「入力」ボタン**
確定した文字を登録して、元の画面に戻ります。

文字や記号を入力する

例：キーワード検索で「愛」を入力する

1 **キーワード検索を表示する（☞16ページ）。**

（☞16ページ）

2 **↑/↓/←/→で「新規追加」を選んで、決定を押す。**
ソフトウェアキーボードが表示されます。

3 **↑/↓/←/→で「あ」を選んで、決定を押す。**
入力文字表示エリアに「あ」と表示されます。

4 **↑/↓/←/→で「い」を選んで、決定を押す。**
入力文字表示エリアに「あい」と表示されます。

5 **↑/↓/←/→で「変換」ボタンを選んで、決定を押す。**
正しい文字が表示されたときは手順7にすすんでください。

6 **「愛」が表示されるまで、くり返し↑/↓を押す。**

7 **「確定」ボタンが選ばれていることを確認して、決定を押す。**

8 **↑/↓/←/→で「入力」ボタンを選んで、決定を押す。**
ソフトウェアキーボードが消えて、キーワード検索に「愛」が表示されます。

入力した文字を削除するには

入力文字表示エリアに表示されている文字を削除できます。

例：「高校野球の決勝戦」から「の」を削除する

1 **↑/↓/←/→でフォーカスを入力文字表示エリアに移動する。**

2 **←/→で、カーソルを削除する文字の左側に移動する。**

高校野球 ┃ の決勝戦

カーソルが右端にあるときは、カーソルの左側の文字が削除されます。

3 **↑/↓/←/→で「削除」ボタンを選んで、決定を押す。**

高校野球 ┃ 決勝戦

ソフトウェアキーボードで使えるリモコンのボタン

ボタン	できること
決定	**↑/↓/←/→** フォーカスやカーソルを移動します。 **決定ボタン** フォーカスやカーソルの移動を決定して、文字を入力したり、フォーカスのあたっているボタンの機能を実行します。
青	**「ひらがな」入力、「カタカナ」入力のときは** 入力した文字を漢字に変換します。 「変換」ボタンと同じ働き。 **「英語」入力、「記号」入力のときは** 全角文字と半角文字を切り換えます。 「全/半角」ボタンと同じ働き。
赤	**「ひらがな」入力、「カタカナ」入力のときは** 変換した文字を確定します。 「確定」ボタンと同じ働き。
緑	カーソルの右側の文字を削除します。 「削除」ボタンと同じ働き。
黄	入力できる文字の種類を変えて、ソフトウェアキーボードを表示します。
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	ソフトウェアキーボードの文字ボタンの行の左端に表示されている数字を見て、数字ボタンで携帯電話のように文字を入力します。
戻る	文字入力を中止して、元の画面に戻ります。入力文字表示エリアに表示されている文字は登録されません。 「中止」ボタンと同じ働き。

画質を調整する

1 画質を調整したい放送や入力に切り換える。

2 (メニュー)を押す。

3 ↑/↓で「テレビの設定をする」を選んで、決定を押す。

4 ↑/↓で「(画質)」を選んで、決定を押す。

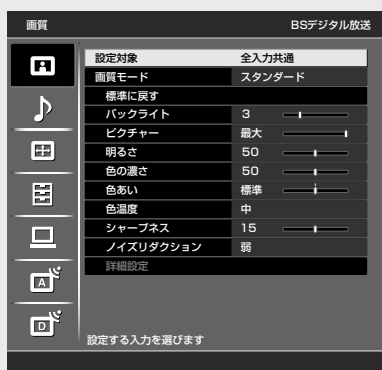
5 ↑/↓で設定したい項目(☞30～31ページ)を選んで、決定を押す。

6 ↑/↓/←/→で設定して、決定を押す。

見ている放送や入力の画質モードは、ツールでも変えられます。

1 ツールボタンを押す。

2 ↑/↓で「画質モード」を選んで、決定を押す。

3 ↑/↓で「ダイナミック」または「スタンダード」、「カスタム」のいずれかを選んで、決定を押す。

全入力共通の設定にするには

すべてのチャンネルや入力で同じ設定にしたいときは、「設定対象」を「全入力共通」にしてください。

画質モードを設定するには

選ぶ項目	できること
ダイナミック	映像の輪郭とコントラストを重視した鮮やかな映像(お買い上げ時の設定)。
スタンダード	ご家庭でのご使用に合わせた、自然さを重視した標準的な映像。**通常は「スタンダード」をおすすめします。**
カスタム	オリジナルの映像を、お好みに合わせて細かく調整します(☞31ページ)。

すべての画質モードで調整できる項目

選ぶ項目	←を押すと	→を押すと
バックライト	画面が暗くなる	画面が明るくなる
ピクチャー	明暗の差が小さくなる	明暗の差が大きくなる
明るさ	暗くなる	明るくなる
色の濃さ	薄くなる	濃くなる
色あい	赤みがかる	緑がかる
シャープネス	映像の輪郭が柔らかくなる	映像の輪郭がくっきりする

選ぶ項目	できること
標準に戻す	画質モードごとにお買い上げ時の設定に戻します。
色温度	「**高**」から「**中**」、「**低1**」(**カスタムのみ**)、「**低2**」(**カスタムのみ**)にしていくと赤みがかった暖かみのある色調になります。
ノイズリダクション	**オート***1:映像のざらつきや色ノイズを検出して自動で軽減します。 **弱、中、強**:映像のざらつきや色ノイズを軽減します(ゴーストなど電波障害は軽減されません)。 **切**:元の映像信号(処理していないオリジナル信号)の状態を確認できます。ただし、映像のざらつきや色ノイズが強調されたり、色にじみが出ることがあります。

*1 地上アナログ視聴中のみ

「カスタム」でのみ調整できる項目

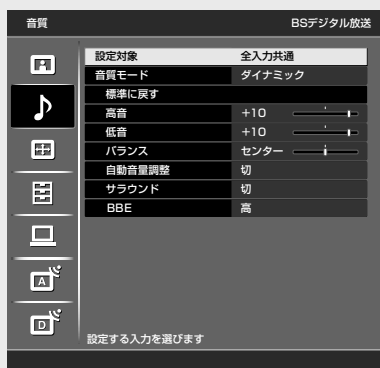
「詳細設定」を選ぶ。

選ぶ項目	できること
標準に戻す	お買い上げ時の設定に戻します。
黒補正	黒を強調してコントラストを強くします。
コントラストエンハンサー	映像の明るさを自動的に判別し、コントラストを最適な状態に調整します。 特に黒つぶれしやすい暗いシーンで効果があり、細部まで表現力豊かに映像を再現します。
ガンマ補正	映像の明暗部分のバランスを調整します。
クリアホワイト	白の鮮明さを強調します。
ライブカラー	色の鮮やかさを強調します。
カラースペース	色再現域を切り換えます。 **ワイド**:バックライトの特性を活かした、より鮮かな色を再現します。 **ノーマル**:標準的な色を再現します。
MPEGノイズリダクション	デジタル特有のモスキートノイズやブロックノイズを低減します。

ちょっと一言

MPEGノイズとは、DVDやハードディスクレコーダーに録画モードを長時間対応にして録画された映像などに出やすいノイズで、文字の輪郭などに蚊が飛んでいるように見えるモスキートノイズや、モザイク状のひずみが出るブロックノイズがあります。

音質を調整する

1. 音質を調整したい放送や入力に切り換える。
2. (メニュー)を押す。
3. ↑/↓で「テレビの設定をする」を選んで、決定を押す。
4. ↑/↓で「♪(音質)」を選んで、決定を押す。
5. ↑/↓で設定したい項目(☞右記)を選んで、決定を押す。

6. ↑/↓/←/→で設定して、決定を押す。

見ている放送や入力の音質モードは、ツールでも変えられます。

1. ツールボタンを押す。
2. ↑/↓で「音質モード」を選んで、決定を押す。
3. ↑/↓で「ダイナミック」または「スタンダード」、「カスタム」のいずれかを選んで、決定を押す。

全入力共通の設定にするには

すべてのチャンネルや入力(PC入力は除く)で同じ設定にしたいときは、「設定対象」を「全入力共通」にしてください。

音質モードを設定するには

選ぶ項目	できること
ダイナミック	重低音を響かせながら、高音も通るように、明瞭感あふれるメリハリのきいた音質。映画やロックコンサートなど、迫力あるコンテンツ向きです。
スタンダード	オリジナルの音源を活かし、全音域がバランスよく自然に広がっていく音質。クラッシック音楽や自然ドキュメンタリーなどのコンテンツ向きです。
カスタム	フラットな音質をお好みに合わせて調整します。

すべての音質モードで調整できる項目

選ぶ項目	←を押すと	→を押すと
高音	弱くなる	強くなる
低音	弱くなる	強くなる
バランス	左側の音が大きくなる	右側の音が大きくなる

選ぶ項目	できること
標準に戻す	音質モードごとにお買い上げ時の設定に戻します。
自動音量調整	放送･入力信号の音量変化に合わせて自動で一定レベルの音量に調整します。CMの音量が番組の音量より大きいときなどに有効です。
サラウンド	TruSurround XT:すべてのステレオ放送と外部入力機器の音声に有効です。クリアで臨場感と迫力のある音声が楽しめます。 **シミュレートステレオ**:モノラル音声を疑似ステレオで広がりのある音声にして再現します。 **切**:5.1chなどデジタル放送のサラウンド音声は、通常のステレオ音声(2ch)に変換して再現します。 それ以外の放送は、オリジナル音声をそのまま再現します。
BBE	音質のぼやけやコントラストの薄さを改善し、迫力、ライブ感のある音声を再現します。

オーディオ機器につないだスピーカーで音声を聞くときは

1 メニューボタンを押す。

2 ↑/↓で「テレビの設定をする」を選んで、決定を押す。

3 ↑/↓で「(各種設定)」を選んで、決定を押す。

4 ↑/↓で「スピーカー出力」を選んで、決定を押す。

5 ↑/↓で「切」を選んで、決定を押す。
本機での音量調節に関係なく、本機のスピーカーから音声が出なくなります。

本機後面の光デジタル音声出力端子から出力される信号について

光デジタル入力対応のオーディオ機器に接続すると、デジタル放送の高音質な音声を楽しめます。

1 メニューボタンを押す。

2 ↑/↓で「テレビの設定をする」を選んで、決定を押す。

3 ↑/↓で「(デジタル放送設定)」を選んで、決定を2回押す。

4 ↑/↓で「接続機器設定」を選んで、決定を押す。

5 「光デジタル出力設定」が選ばれていることを確認して、決定を押す。

6 ↑/↓で設定して、決定を押す。

選ぶ項目	できること
オート	AAC対応AVアンプなどをつないでいるときに選びます。 デジタル放送の音声のときは、AAC音声(デジタル放送用音声方式)がそのまま出力されます。 地上アナログやビデオ機器などからのアナログ音声のときは、PCM音声(2ch)のデジタル信号に変換して出力されます。
PCM	AACに対応していないAVアンプやサンプリングレートコンバーター内蔵のMDデッキなどをつないでいるときに選びます。 デジタル放送の音声も、地上アナログやビデオ機器などからのアナログ音声もすべて、PCM音声(2ch)のデジタル信号に変換して出力されます。

ご注意

ヘッドホンを使用しているときは、「サラウンド」および音質モードの効果は無効になります。

画面モードの設定をする

画面モードを手動で切り換える［ワイド切換］

お買い上げ時は自動で画面モードが切り換わる（オートワイド）ように設定されています。画面が変わるたびに画面モードが切り換わるのが気になるときは、あらかじめ、「オートワイド」を「切」に設定し、手動でお好みの画面モードを選ぶことができます。
また、「オートワイド」が「入」に設定されていても、手動で画面モードを切り換えることもできます。

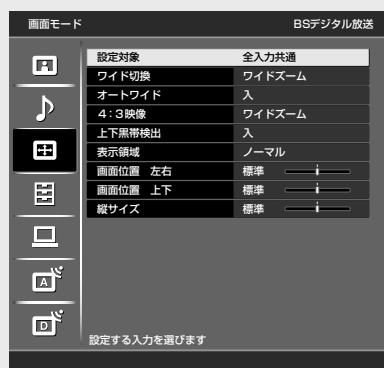
ワイド切換（ワイド切換）を押す。

画面モードを自動で切り換える［オートワイド］

1 メニュー（メニュー）を押す。

2 ↑/↓で「テレビの設定をする」を選んで、決定を押す。

3 ↑/↓で「（画面モード）」を選んで、決定を押す。

4 ↑/↓で設定したい項目を選んで、決定を押す。

5 ↑/↓/←/→で設定して、決定を押す。

全入力共通の設定にするには

すべてのチャンネルや入力（PC入力は除く）で同じ設定にしたいときは、「設定対象」を「全入力共通」にしてください。

設定項目

選ぶ項目	できること
ワイド切換	手動でお好みの画面モードに切り換えられます。オートワイド「切」にしておくとお好みの画面モードに固定できます。
オートワイド	**入**：画像を検出して最適な画面モードに自動で切り換えます。画面モードが頻繁に切り換わるときなど気になるときは「切」を選んでください。 **切**：画面モードは自動的には切り換わらなくなります。「ワイド切換」でお好みの画面モードを選んで固定できます。
4:3映像	オートワイド「入」のときに4:3映像をどのように表示するかの設定です。 **ワイドズーム**：4:3映像を左右上下に引き伸ばして表示します。 **ノーマル**：4:3映像をそのまま表示します。 **切**：4:3映像をワイド切換で切り換えた画面モードにします。
上下黒帯検出	オートワイド「入」のときに、上下に黒帯のある映画など横長の画面をどのように表示するかの設定です。 **入**：上下の黒帯を細くし、左端/右端の画像が切り取られた状態で表示します。 **切**：上下の黒帯をそのまま残し、全画面で表示します。
表示領域	画面に表示させる、映像の範囲を設定します。 **ノーマル**：オリジナルの画サイズで表示します。 **－1または－2**：オリジナルの映像の画欠けを見えなくします。
画面位置 左右 画面位置 上下 縦サイズ	画面の左右や上下が欠けたり、字幕が入りきらなかったりするときに調整してください。

ちょっと一言

番組情報が表示されているときや視聴している番組によっては、ワイド切換ができないことがあります。

オートワイドの働きかた

下の例は、オートワイド「入」で、「4:3映像」を「ワイドズーム」に設定しているときです。

A:地上アナログ、D:デジタル放送、外:外部入力(PC入力を除く)

オリジナルの映像(映像の種類)	画面モード	オートワイドの映像
A 通常のテレビ(地上アナログ)放送(横縦比4:3) D 標準テレビ信号SDの4:3映像 外 識別制御信号が入っていない横縦比4:3の映像		オリジナルの映像を違和感少なく画面いっぱいに拡大します。
A 外 ビスタビジョンなど映像中に字幕が入った横長の映画(横縦比1.85:1) D 標準テレビ信号SDのレターボックス4:3映像(画面上下の黒帯を除いた映像部分は16:9)で、識別制御信号があるとき		画面の左右に合わせていっぱいに拡大します。(映像の種類によって、上下に黒い帯が残ることがあります。)
A 外 シネマビジョンなど映像の外に字幕のある横長の映画(横縦比2.35:1)		画面の左右に合わせていっぱいに拡大しながら、字幕部分だけを圧縮して画面に入れます。
外 横縦比を16:9にする識別制御信号が入ったビデオカメラやDVDソフトなどの映像(ID-1方式やS2方式)		天地はそのままで、左右を画面いっぱいに引き伸ばします。
D デジタルハイビジョン信号HDまたは標準テレビ信号SDの16:9映像		オリジナルの映像をワイド画面いっぱいに表示します。
D デジタルハイビジョン信号HDまたは標準テレビ信号SDのサイドパネル16:9映像(画面左右の黒帯を除いた映像部分は4:3)		オリジナルの映像を拡大せずに、横縦比4:3のままの映像にします。
A D 「オートワイド」を「入」、「4:3映像」を「ノーマル」に設定したとき(☞34ページ)(デジタルハイビジョン信号HDを除くすべての映像) 外 横縦比を4:3にする識別制御信号が入ったテレビ放送、ビデオカメラやDVDソフトなどの映像(ID-1方式やS2方式)		オリジナルの映像を拡大せずに、横縦比4:3のままの映像にします。

ご注意

- 本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどに置き、画面モード切り換え機能等を利用して画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。
- ワイド映像でない従来の4:3の映像を、ワイドズームモードを利用してテレビの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり変形して見えたりします。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像はノーマルモードでご覧になれます。
- オートワイド「入」のときは、CMが入ったり番組が変わったりするときなどに、画面サイズが変わって不自然に見えたり、変わるまでに数秒間かかったりすることがあります。

省エネ対応の設定をする

本機では、通常時の消費電力量を設定によって抑えたり、しばらく何も操作をしなかったときなどに自動で電源が切れるようにするなど、省エネに対応しています。

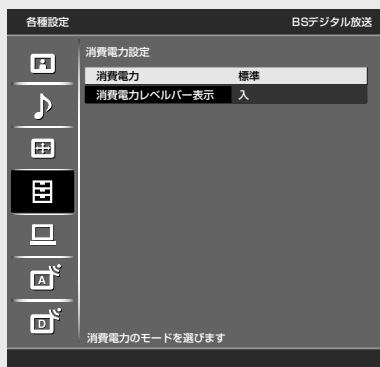
消費電力を抑える・電力のレベルを表示する［消費電力レベルバー表示］

1 （メニュー）を押す。

2 ↑/↓で「テレビの設定をする」を選んで、決定を押す。

3 ↑/↓で「（各種設定）」を選んで、決定を押す。

4 ↑/↓で「消費電力設定」を選んで、決定を押す。

5 ↑/↓で設定したい項目を選んで、決定を押す。

消費電力を設定するには

「消費電力」を選ぶ。

選ぶ項目	できること
標準	お買い上げ時の設定。
減（明）	消費電力を抑えたいときに選びます。
減（暗）	「減（明）」よりもさらに消費電力を抑えられます。
減（消画）	ラジオ放送などをお楽しみになるときに、画面を消して音声のみを楽しむことができます。消画中は本機前面の消画/通信/タイマーランプが緑色に点灯します。

消費電力レベルを確認するには

「消費電力レベルバー表示」を選ぶ。

「入」に設定すると、画面表示ボタンを押したときに、消費電力を示すレベルバーが表示されます。「バックライト」、「消費電力」、「明るさセンサー」、「コントラストエンハンサー」の設定に対応して消費電力レベルバー表示が変わります。

周囲の明るさに合わせて自動で明るさを変える［明るさセンサー］

周囲の明るさに合わせて、自動的に画面の明るさを調整します。画質モード（☞30ページ）と消費電力の設定により、明るさセンサーによる効果が異なったり、効果が出にくい場合があります。お買い上げ時は「切」になっています。

1 メニューボタンを押す。

2 ↑/↓で「テレビの設定をする」を選んで、決定を押す。

3 ↑/↓で「（各種設定）」を選んで、決定を押す。

4 ↑/↓で「明るさセンサー」を選んで、決定を押す。

5 ↑/↓で「入」を選んで、決定を押す。

ご注意

リモコン受光部/明るさセンサー（☞6ページ）の前に物を置かないでください。自動明るさ調節機能が働かないことがあります。

ちょっと一言

- 消画にしたままで電源を切ると、次に電源を入れたときは「消費電力」が「標準」に戻ります。
- 消費電力レベルバーの値は、対応している設定を変えても、変わらないことがあります。表示バーの値や変化の量は、消費電力量のめやすです。

自動で電源を切る［無操作電源オフ］

チャンネル切り換えや音量調節など、設定した時間内に何も操作をしなかったときは、電源スタンバイ（スタンバイランプが赤色に点灯）になります。お買い上げ時は「切」になっています。

1 **メニューボタンを押す。**

2 **↑/↓で「テレビの設定をする」を選んで、決定を押す。**

3 **↑/↓で「（各種設定）」を選んで、決定を押す。**

4 **↑/↓で「無操作電源オフ」を選んで、決定を押す。**

5 **↑/↓で「2時間」または「3時間」を選んで、決定を押す。**

オートシャットオフについて

地上アナログを視聴中に、約9分間無信号を検出すると「オートシャットオフによりまもなく電源が切れます」と画面に表示され、その1分後に電源スタンバイ（スタンバイランプが赤色に点灯）になります。深夜などの放送終了後には、自動で電源スタンバイになります。

バックライトを調整する

「バックライト」を暗くすると消費電力を軽減できます（☞31ページ）。

1 **メニューボタンを押す。**

2 **↑/↓で「テレビの設定をする」を選んで、決定を押す。**

3 **↑/↓で「（画質）」を選んで、決定を押す。**

4 **↑/↓で「バックライト」を選んで、決定を押す。**

5 **←/→で調整して、決定を押す。**

PCパワーマネジメントを設定する

「パワーマネジメント」を「入」にすると、無信号を検出すると「入力信号がありません」と表示されて、その約30秒後に電源スタンバイ（スタンバイランプが赤色に点灯）になります。信号が入力されると自動で電源が入ります。

1 **メニューボタンを押す。**

2 **↑/↓で「テレビの設定をする」を選んで、決定を押す。**

3 **↑/↓で「（PC設定）」を選んで、決定を押す。**

4 **↑/↓で「パワーマネジメント」を選んで、決定を押す。**

5 **↑/↓で「入」を選んで、決定を押す。**

ちょっと一言

「バックライト」で画面を暗くすると、「消費電力」を「減（明）」または「減（暗）」にしても画面の明るさや節電効果が変わらないことがあります。

タイマーの設定をする

スリープタイマーを使う

設定した時間が経過すると、自動的に電源スタンバイ(スタンバイランプが赤色に点灯)になるように設定できます。

1 (メニュー)を押す。

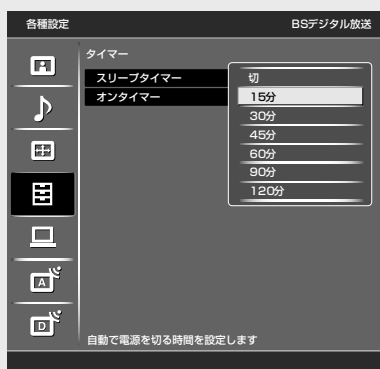
2 ↑/↓で「テレビの設定をする」を選んで、決定を押す。

3 ↑/↓で「(各種設定)」を選んで、決定を押す。

4 ↑/↓で「タイマー」を選んで、決定を押す。

5 ↑/↓で「スリープタイマー」を選んで、決定を押す。

6 ↑/↓で「15分」または「30分」、「45分」、「60分」、「90分」、「120分」を選んで、決定を押す。

本機前面の消画/通信/タイマーランプがオレンジ色に点灯します。

オンタイマーを使う

見たい番組があるときに時刻などを設定しておくと、自動で電源を入れることができます。オンタイマーはデジタル放送の時刻情報を使用するため、デジタル放送を受信しているときに使えます。

1 (メニュー)を押す。

2 ↑/↓で「テレビの設定をする」を選んで、決定を押す。

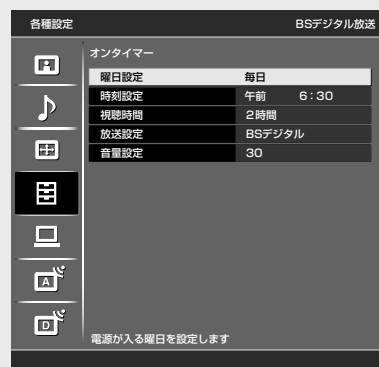
3 ↑/↓で「(各種設定)」を選んで、決定を押す。

4 ↑/↓で「タイマー」を選んで、決定を押す。

5 ↑/↓で「オンタイマー」を選んで、決定を押す。

6 ↑/↓で「入」を選んで、決定を押す。

本機前面の消画/通信/タイマーランプがオレンジ色に点灯します。

7 ↑/↓で設定したい項目を選んで、決定を押す。

8 ↑/↓で設定して、決定を押す。

ご注意

- オンタイマーを設定したあとは、本体の電源スイッチで主電源を切らないでください。設定した時刻になっても本機の電源が入りません。
- ケーブルテレビ(CATV)でデジタル放送を受信しているときは、時刻情報を取得できないことがあります。
アンテナ線をつないでデジタル放送を受信しているときは時刻情報を取得できます。

ちょっと一言

デジタル放送を見ているときに時刻情報を取得すると、そのあと、地上アナログを見ているときでも、オンタイマーを使えます。

設定項目

選ぶ項目	できること
曜日設定	曜日を設定します。
時刻設定	時刻を設定します。
視聴時間	視聴時間を設定します。設定した時間が経過すると、自動で電源が切れます(電源スタンバイ)。
放送設定	放送の種類を選びます。
音量設定	音量を設定します。

時刻情報を取得するには

地上アナログを見ているときは、ツールから「時刻取得」を選ぶとデジタル放送に切り換わり、時刻情報を取得します(☞13ページ)。
デジタル放送を見ているときは、自動的に時刻情報を取得します。

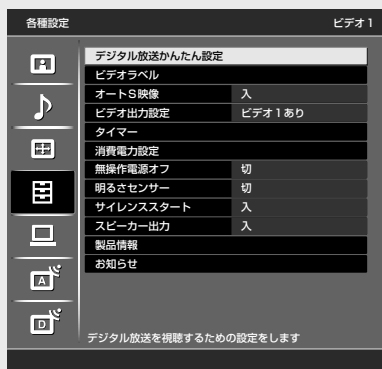
その他の各種設定をする

その他各種設定ができます。

1 （メニュー）を押す。

2 ↑/↓で「テレビの設定をする」を選んで、決定を押す。

3 ↑/↓で「（各種設定）」を選んで、決定を押す。

4 ↑/↓で設定したい項目を選んで、決定を押す。

5 ↑/↓で設定して、決定を押す。

設定項目

選ぶ項目	できること
オートS映像	ビデオ1、2入力のS2映像入力端子と映像入力端子の両方につないだときは、ビデオの映像信号をどちらの端子から入力するかを設定します。S2映像入力端子からの映像を見るときは、必ず「入」にしてください。 **入**：S2映像入力端子から入力された映像を見ます。 **切**：映像入力端子から入力された映像を見ます。
ビデオ出力設定	ビデオ1入力の映像や音声を、デジタル放送/ビデオ出力端子から出力させたいときは、「ビデオ1あり」に設定してください。
スピーカー出力	**入**:本機のスピーカーから音声が出ます。 **切**:本機のスピーカーから音声は出ません（☞33ページ）。本機につないだオーディオ機器のスピーカーで音声を聞くときに選びます。

修理に出す前に

修理に出す前に、もう一度、点検をしてください。それでも、正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。
ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

液晶テレビ

KDL-32V2000（ケーディーエル ブイ）

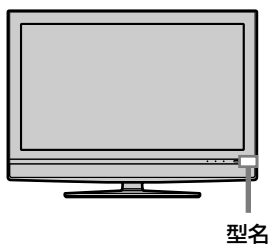
KDL-40V2000（ケーディーエル ブイ）

KDL-46V2000（ケーディーエル ブイ）

画面サイズ(番号)がどれかわからないときは、保証書や本機前面に記載されている型名をお知らせください。

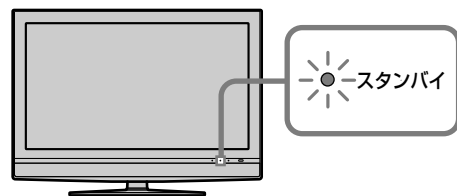
型名

リモコンの型名:

RM-JD005（アールエム ジェイディー）

故障の状況:できるだけくわしく

購入年月日:

自己診断表示ー画面が消え、スタンバイランプが点滅したら

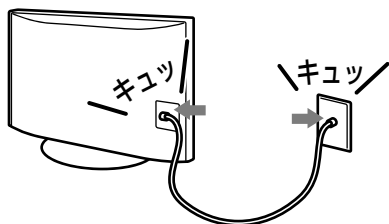
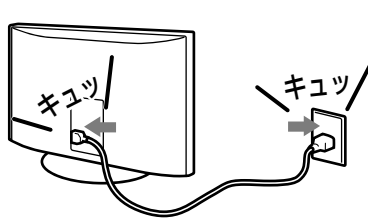
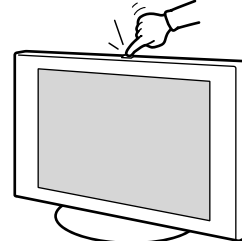
本機には自己診断表示機能がついています。これは本機に異常が起きたときに、本機前面のスタンバイランプの点滅の回数により本機の状態をお知らせし、よりスムーズにサービス対応させていただくための機能です。本機前面のスタンバイランプが赤色に点滅したら、下の手順に従って、ソニーサービス窓口にご相談ください。ソニーサービス窓口については、同梱の「ソニーご相談窓口のご案内」をご覧ください。ご相談の内容によっては、修理が必要な場合があります。

1 本機前面のスタンバイランプの点滅回数を確認してください。
2 テレビ本体の電源スイッチで主電源を切り、電源コンセントを抜いてから、ソニーサービス窓口に点滅回数をお知らせください。

本機の設置場所を変えたときは

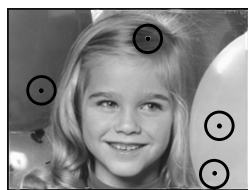
お引越しや模様替えなどで、アンテナをつなぎ換えたときは、もう一度、本機でお買い上げ時の初期設定をしてからお使いください(☞「設置・接続編」の「準備6:お買い上げ時の初期設定(デジタル放送かんたん設定)をする」)。

故障かな？と思ったら

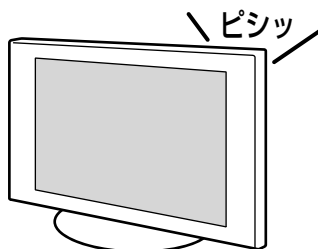
まず確認してください

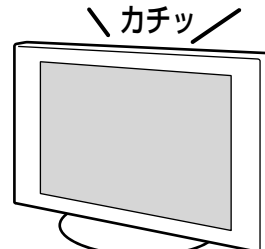
アンテナ線

電源コード

本体スイッチ

症状に当てはまらない場合は、次ページの「症状診断を行います」で、「Q1」と「Q2」の問に当てはまる参照ページをご覧ください。

こんな場合は故障ではありません

画面に光る点、または光らない点がある。

輝点・滅点

液晶テレビの映像は微細な画素の集合です。
画面の一部に画素欠けや輝点が存在する場合があります。

「ピシッ」というきしみ音が出る。

電源を入れているかどうかに関わらず、周囲との温度差でキャビネットが伸縮し、「ピシッ」という音が出ることがありますが、本機に影響はありません。

電源を入れたときや電源スタンバイ時に「カチッ」と音がする。

電源を入れたときは、内部の回路が働くため音がします。また電源スタンバイ時は、デジタル放送からのデータを取得するため、本機の電源が自動的に入り、音がしますが、本機に影響はありません。（このとき消画/通信/タイマーランプが点滅します。☞55ページ）

症状診断を行います

「Q1」の問題が「Q2」のどの映像を見ているときに起きているかをチェック！！

Q2. どんな映像を見ていますか？

Q1. どんな問題ですか？

Q1 \ Q2	すべての映像や入力	従来の地上アナログ放送	デジタル放送（地上、衛星）	つないだ機器
映像がおかしい	「映像全般」☞44ページ	「地上アナログ放送の映像」☞45ページ	「デジタル放送の映像」☞47ページ	「つないだ機器の映像」☞52ページ
音声がおかしい	「音声全般」☞44ページ	「地上アナログ放送の音声」☞46ページ	「デジタル放送の音声」☞49ページ	「つないだ機器の音声」☞52ページ
操作がわからない 画面表示がわからない		「地上アナログ放送のメニュー操作」☞46ページ	「デジタル放送のメニュー操作」☞49ページ	
リモコンが働かない	「リモコン操作」☞53ページ			
エラーメッセージが表示される	エラーメッセージ一覧 ☞54ページ			

放送や入力を切り換えても、同じような症状が起こる場合は、「症状と対処のしかた」の「映像全般」（☞44ページ）、「音声全般」（☞44ページ）をご覧ください。

困ったときは

次のページにつづく⇨

故障かな？と思ったら（つづき）

症状と対処のしかた

すべての映像や入力

映像全般

操作編：この冊子のページです。
設置編：別冊の「設置・接続編」のページです。

映像がおかしい

症状	対処のしかた	参照ページ	
		操作編	設置編
本機の電源が突然切れた/いつのまにか消えていた（電源スタンバイ状態になった）。	● オートシャットオフが働いていませんか？ ● スリープタイマーを設定していませんでしたか？ ● 無操作電源オフを設定していませんか？ ● オンタイマーを利用して電源を入れたあと、設定した時間が経過すると、電源スタンバイになります。	37 38 37 38	
画面モード（サイズ）が勝手に切り換わる。 映像が上下に動く。 例	● オートワイドが働いていませんか？ 「オートワイド」が「入」のときは、本機が最適な画面を判断しているためです。お買い上げ時は「オートワイド」は「入」に設定されています。 気になるときは「オートワイド」を「切」にしてください。 ● CMが入ったり、番組が変わったりするときなどに、画面サイズが変わって不自然に見えたり、変わるまでに数秒間かかったりすることがあります。番組に最適な画面を本機が判断しているためです。 ● 識別制御信号のある画像を受信して、自動的に信号に対応した画面モードになるためです。	34 35 35	
色がつかない、 色がおかしい、 画面が暗い。	● 画質モードを設定してください。 ● 画質を調整してください。 ● 「消費電力」が「減（明）」または「減（暗）」のときは、画面が暗くなります。	30 30 36	
画面がまぶしい。	● 画質モードを設定してください。 ● 「消費電力」を「減（明）」または「減（暗）」にしてみてください。 ● 「明るさセンサー」を「入」にしてみてください。	30 36 36	
画面が黒くなり何も映らない。	● 「消費電力」を「減（消画）」にしていませんか？消画のときは本機前面の消画/通信/タイマーランプが緑色に点灯します。	36	

音声全般

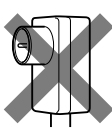
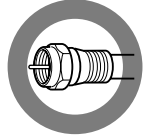
音声がおかしい

症状	対処のしかた	参照ページ	
		操作編	設置編
画像は出るが、音が出ない。	● 音量が下がりきっていないか確認してください。 ● 画面に「消音」の表示が出ているときは、リモコンの音量＋ボタンを押して表示を消してください。 ● ヘッドホンを抜いてください。 ● 「スピーカー出力」が「切」になっていませんか？ 「入」にしてください。	33	

従来の地上アナログ放送

地上アナログ放送の映像

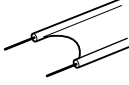
操作編：この冊子のページです。
設置編：別冊の「設置・接続編」のページです。

映像がおかしい

症状	対処のしかた	参照ページ 操作編	参照ページ 設置編
特定のチャンネルだけが映らない。	● チャンネルを設定し直してください。		31
チャンネルを切り換えたときに画面が一瞬乱れる。	● 「GR設定」が「入」のときは、チャンネルを切り換えたあと数秒してからゴーストリダクション機能が働きます。働いているときに画像が一瞬またたくことがありますが、故障ではありません。気になるときは、「GR設定」を「切」にしてください。		32
画像が二重、三重になる。	● 付属のVHF/UHF用アンテナ接続ケーブルを使って、地上波アンテナをつないでいるか確認してください。 ● アンテナ線をしっかりつないでください。 ● アンテナの位置、方向、角度を調整してください。 ● 「GR設定」（ゴースト・リダクション）を「入」または「切」にしてください。		21 32
雪が降るような画面、うすい画面、風がふくとちらつく。	● 付属のVHF/UHF用アンテナ接続ケーブルを使って、地上波アンテナをつないでいるか確認してください。 ● アンテナ線をしっかりつないでください。 ● アンテナが壊れたり曲がったりしていないか確認してください。 ● アンテナの寿命を確認してください（通常3～5年、海辺では1～2年）。		21
斑点や点模様が走る。	● 付属のVHF/UHF用アンテナ接続ケーブルを使って、地上波アンテナをつないでいるか確認してください。 ● アンテナ線をしっかりつないでください。 ● ヘアードライヤー、自動車、バイクなどからの雑音電波の干渉を受けている可能性があります。アンテナはなるべく道路から離して設置してください。		21
ノイズが多い。	● 付属のVHF/UHF用アンテナ接続ケーブルを使って、地上波アンテナをつないでいるか確認してください。 ● アンテナ線は他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。 ● フィーダー線や室内アンテナは特に電波妨害を受けやすいため、お買い上げ店などにご相談ください。 フィーダー線		21

困ったときは

次のページにつづく⇨

故障かな？と思ったら（つづき）

操作編：この冊子のページです。
設置編：別冊の「設置・接続編」のページです。

従来の地上アナログ放送

映像がおかしい

症状	対処のしかた	参照ページ 操作編	参照ページ 設置編
ノイズが多い。（つづき）	● プラスチック製のアンテナアダプターはノイズが入りやすいので、付属のF接栓型アンテナケーブルを使ってください。 プラスチック製のアンテナアダプター　F接栓型アンテナケーブル		

地上アナログ放送の音声

音声がおかしい

症状	対処のしかた	参照ページ 操作編	参照ページ 設置編
雑音が多い。	● 付属のVHF/UHF用アンテナ接続ケーブルを使って、地上波アンテナをつないでいるか確認してください。 ● アンテナ線は他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。 ● フィーダー線や室内アンテナは特に電波妨害を受けやすいため、お買い上げ店などにご相談ください。 フィーダー線 ● 「オートステレオ」を「切」にしてください。		21 32
聞きたい音声になっていない。	● 二か国語放送などで、副音声になっていませんか？音声切換ボタンを押して、切り換えてください。	24	

地上アナログ放送のメニュー操作

操作がわからない/画面表示がわからない

症状	対処のしかた	参照ページ 操作編	参照ページ 設置編
「展示モード」または「展示モード：入」と表示される。	● 展示モードが「入」に設定されています。「（アナログ放送設定）」で「チャンネルスキャン」を行ってください。		31

デジタル放送(地上、衛星)

デジタル放送の映像

操作編:この冊子のページです。
設置編:別冊の「設置・接続編」のページです。

映像がおかしい

症状	対処のしかた	参照ページ	
		操作編	設置編
デジタル放送のチャンネルが映らなくなった。	● 強風などで設置したアンテナの向きが変わっていませんか？アンテナの向きを調整してください。		
地上デジタルの受信設定ができない/放送を受信できない。	● アンテナを直接つないでいるか、ケーブルテレビを受信しているかを確認してください。 ● 地上デジタルに対応したアンテナにつないでください。 ● アンテナ線をしっかりつないでください。 ● お住まいの地域で地上デジタルが放送開始されているか確認してください。		 21
地上デジタルが映らない/画像が乱れている。	● アンテナ線をしっかりつないでください。 ● 地上波アンテナの位置・方向・角度を調整してください。 ● 本機の近くで携帯電話や電子レンジなどを使用すると、映像や音声が乱れることがありますのでご確認ください。 ● 県域設定は正しいですか？地域によって放送が異なります。必ず、「チャンネルスキャン」の前に「県域設定」を行ってください。 ● 「チャンネルスキャン」で「初期スキャン」または「再スキャン」を行ってください。 ● ブースターのレベルを上げて信号を増幅しすぎると受信できないことがあります。		21 33 28、34 33
BSデジタル・110度CSデジタルが映らない/画像が乱れている。	**衛星アンテナを直接つないでいる場合** ● 衛星アンテナはデジタル放送受信に対応していますか？ ● 衛星アンテナの前方に障害物があれば取り除いてください。 ● 衛星アンテナに雪が付着していませんか？ ● 衛星アンテナ側は防水型コネクターをつないでください。 ● ケーブルの芯線をコネクターに正しく差し込んでください。 ● 「衛星アンテナ電源」を「オート」または「入」にしてください。 ● 衛星アンテナの方向・角度を調整してください。 **マンションなどの共同受信システムの場合** ● ケーブルの芯線をコネクターに正しく差し込んでください。 ● サテライト/UV混合分波器でVHF/UHFとBSデジタル・110度CSデジタルを分波してください。 ● 「衛星アンテナ電源」を「切」にしてください。		 23 23 23 36 36 23 21 36

困ったときは

次のページにつづく⇨

故障かな？と思ったら（つづき）

操作編：この冊子のページです。
設置編：別冊の「設置・接続編」のページです。

デジタル放送（地上、衛星）

映像がおかしい

症状	対処のしかた	参照ページ	
		操作編	設置編
BSデジタル・110度CSデジタルが映らない/画像が乱れている。（つづき）	**複数のBS機器をサテライト分配器でつないでいる場合** ● 衛星アンテナ用電源を供給する機器のスイッチを「入」にしてください。 **その他** ● 雨や雪が降ると映りが悪くなることがあります。また、お住まいの地域が晴れていても、BSデジタル・110度CSデジタルを送信する放送衛星会社の地域で雨や雪が降っていると映りが悪くなることがあります。 ● 本機の近くで携帯電話や電子レンジなどを使用すると、映像や音声が乱れることがあります。 ● サテライト専用の同軸ケーブルを使ってください。 ● 有料BSデジタルや110度CSデジタルの受信契約（加入申し込み）をしていますか？		23 38
BSデジタルは映るのに110度CSデジタルが映らない。	● アンテナや分配器、ブースターなどが110度CSデジタルに対応していますか？詳しくは、お買い上げ店か、マンション管理会社にお問い合わせください。 ● BSアナログチューナー内蔵のビデオからアンテナケーブルをつないでいませんか？分配器を使って本機とBSアナログチューナー内蔵ビデオにそれぞれつないでください。 ●「衛星アンテナレベル」を確認してください。 ● 110度CSデジタルをご覧になるには受信契約が必要です。		23 23 36 38
画面が黒くなり何も映らない。	● ラジオ放送を選んでいませんか？音声のみのラジオ放送のときは映像は出ません。		
デジタル放送のチャンネルを切り換えたり、番組が切り換わったりするときにノイズが出る。	● デジタルハイビジョン信号HDと標準テレビ信号SDなど映像の解像度が変化するときに、同期信号などの白い線が見えることがありますが、故障ではありません。		
BSデジタル・110度CSデジタルの映像が、通常に比べ画質/音質が低下した映像に勝手に切り換わる。	● 激しい雨など受信状態が悪いときなどに、降雨対応放送に切り換わる場合があります。頻繁に切り換わるときは、「降雨対応放送受信」を「切」にしてください。	57	

デジタル放送の音声

操作編:この冊子のページです。
設置編:別冊の「設置・接続編」のページです。

音声がおかしい

症状	対処のしかた	参照ページ 操作編	参照ページ 設置編
音声が出ない/音声がおかしい。	● 二か国語放送などで、第2音声になっていませんか?音声切換ボタンを押して、切り換えてください。 ● 「サラウンド」を「切」にしてください。「TruSurround XT」にしていると、番組によっては、音が聞こえにくかったり、消えてしまったりすることがあります。	24 32	
聞きたい音声になっていない。	● 二か国語放送などで、第2音声になっていませんか?音声切換ボタンを押して、切り換えてください。	24	

デジタル放送のメニュー操作

操作がわからない/画面表示がわからない

症状	対処のしかた	参照ページ 操作編	参照ページ 設置編
地上デジタルの放送局のマークが表示されない。	● 地上デジタルの各放送局を一定時間視聴すると、放送局のマークが表示されます。		
チャンネル+/−ボタンで選局できない。	● お買い上げ時は、デジタル放送の放送サービス(テレビ、ラジオ、独立データ)内で順送りに選局します。ご覧になっている放送(地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル)と放送サービス(テレビ、ラジオ、独立データ)をご確認ください。 ● 「チャンネル登録」で、チャンネル+/−ボタンで選局できるチャンネルを設定できます。 ● 複数のチャンネルで同時に同じ番組を放送しているとき(イベント共有)は、代表チャンネルのみが選局できます。	11~13 57	 35、37
ペイパービュー(有料番組)が購入できない。	● 本機と電話回線が正しくつながれているか確認してください。 ● 電話回線の種類などが正しく設定されているか確認してください。 ● ネットワーク(LAN)ケーブルをつないで、ネットワーク設定を行っていてもペイパービューは購入できません。電話回線の接続が必要です。 ● 番組によっては購入可能時間が決まっているものがあります。 ● 番組の購入可能件数を超えると購入できなくなります。		25 39
番組表や他チャンネルリストに表示されないチャンネルがある。	● 番組表や他チャンネルリストを表示しているときに、ツールボタンを押して「番組情報取得」を選んでください。番組情報を取得し直します。 ● 「チャンネル登録」で、番組表や他チャンネルリストに表示されるチャンネルを設定できます。	15、18	 35、37
番組表に表示されるデジタル放送の番組が少ない。	● 番組表を表示しているときに、ツールボタンを押して「番組情報取得」を選んでください。番組情報を取得し直します。	15	

次のページにつづく⇨

故障かな？と思ったら（つづき）

操作編：この冊子のページです。
設置編：別冊の「設置・接続編」のページです。

デジタル放送（地上、衛星）

操作がわからない/画面表示がわからない

症状	対処のしかた	参照ページ 操作編	参照ページ 設置編
検索をしたときに表示される番組数が少ない。	• お買い上げ時、または長時間本体の電源スイッチで主電源を切った状態のときは、次に電源スイッチを押して主電源を入れたあとは、番組表に表示される番組が少ないことがあります。本機では、主電源を切っているときは放送局が送信する番組情報のデータを取得できないためです。		
ジャンル検索した番組のジャンルが番組説明で表示されるジャンルと違っている。	• 番組説明では、代表的なジャンルが1つしか表示されませんが、1つの番組が複数のジャンル情報を持っていることがあり、それぞれのジャンルで検索できるためです。	19	
キーワード検索ができない。	• キーワード検索はデジタル放送の番組情報データの「番組概要」から検索するため、「番組概要」にキーワードが含まれていないときは検索できません。「番組概要」と合致したキーワードを登録してください。 • キーワードの文字と「番組概要」の文字が完全に一致していないと、番組を検索できません。英字/数字、半角/全角の違いやスペースも文字として検索するため、「番組概要」と合致したキーワードを登録してください。	17、19 17、19	
電源ランプが緑色に点滅する。または、「衛星アンテナがショートしたため　衛星アンテナ電源の設定を「切」にしました　取扱説明書をご覧ください」と表示される。	**衛星アンテナを直接つないでいる場合** ①本体の電源スイッチで主電源を切り、サテライト用同軸ケーブルの芯線がBS/110度CS IF入力端子やケーブルのまわりの金属部分に触れていないか確認してください。 正しい ○　× × ②本体の電源スイッチで主電源を入れて、「衛星アンテナ電源」を「オート」または「入」にしてから、もう一度受信設定してください。 ③それでも表示が消えないときは、本体の電源スイッチで主電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。		21、23 36

操作編：この冊子のページです。
設置編：別冊の「設置・接続編」のページです。

デジタル放送（地上、衛星）

操作がわからない/画面表示がわからない

症状	対処のしかた	参照ページ	
		操作編	設置編
電源ランプが緑色に点滅する。または、「衛星アンテナがショートしたため　衛星アンテナ電源の設定を「切」にしました　取扱説明書をご覧ください」と表示される。（つづき）	**マンションなどの共同受信システムの場合** ①本体の電源スイッチで主電源を切り、サテライト用同軸ケーブルの芯線がBS/110度CS IF入力端子やケーブルのまわりの金属部分に触れていないか確認してください。 正しい ○ × ②本体の電源スイッチで主電源を入れてください。 ③それでも表示が消えないときは、本体の電源スイッチで主電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。		21、23
設定したメニューの項目が正しく反映されていない。	• デジタル放送の信号には、多くの情報が含まれています。そのため、メニューの項目を設定した直後（約2分以内）に、本体の電源スイッチで主電源を切ると、設定した内容が反映されないことがあります。このときは、もう一度設定し直してください。		
「展示モード」または 「展示モード：入」と表示される。	• 展示モードが「入」に設定されています。 「（デジタル放送設定）」で「個人情報初期化」を行ってください。		44、45
画面右下に✉が表示される。	• デジタル放送や本機から発行されたメールが来ています。メールの内容を確認してください。	26	

困ったときは

次のページにつづく⇨

故障かな？と思ったら（つづき）

つないだ機器

つないだ機器の映像

操作編：この冊子のページです。
設置編：別冊の「設置・接続編」のページです。

映像がおかしい

症状	対処のしかた	参照ページ 操作編	参照ページ 設置編
つないだ機器の画像が出ない。	● 接続コードをしっかりつないでください。 ● リモコンの入力切換ボタンを押してください。 ● S2映像入力端子からの映像を見るときは、「オートS映像」を「入」にしてください。 ● 「ビデオラベル」が「使用しない」になっていませんか？いったん「ビデオラベル」を「使用しない」に設定した入力端子に、後日、外部機器をつないでも、その機器の映像に切り換えられません。新たに機器をつないだときは、もう一度、「ビデオラベル」を設定してください。	 20 40 20	
パソコンの画像が出ない。	● 接続するパソコンの種類によっては、画像が表示されない場合があります。パソコンの設定を変更して、PC入力対応信号表にある信号を出力するようにしてください。パソコンの設定方法について詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。	23	49
ビデオの再生/録画時に縞状のノイズが出る。	● ビデオと本機が近いため、干渉しあっています。ビデオを本機からできるだけ離して置いてください。		
ビデオの再生/録画時に映像が乱れたり、映らなくなる。	● 映像信号変換機能がついた機器（AVアンプなど）を使用して、通常の映像信号（コンポジット映像信号）またはS映像信号をコンポーネント映像信号に変換して本機に接続した場合、映像信号の状態によっては映像が乱れたり、映らなくなることがあります。このようなときは、通常の映像信号（コンポジット映像信号）またはS映像信号を直接本機のビデオ入力に接続してください。		
画像の横縦比がおかしい。	● 本機から録画した画面の横縦比16:9の映像を、横縦比4:3のワイド機能のないテレビで再生すると映像が縦長に引き伸ばされて出力されます。		

つないだ機器の音声

音声がおかしい

症状	対処のしかた	参照ページ 操作編	参照ページ 設置編
画像は出るが、音が出ない。	● パソコンをつないでいるときは、パソコン側でも音量の調整を行ってください。		
音声出力端子から音が出ない/録音できない。	● HDMI入力端子およびコンポーネント入力端子につないだ機器を再生しているときは、デジタル放送/ビデオ出力端子から音声は出力されません。また、光デジタル音声出力端子から音声は出力されますが、録音はできません。		
二か国語が混じって録画機器に録音されていた。	● 録画機器で再生するときに録画機器のリモコンで聞きたい音声を選んでください。		

操作編：この冊子のページです。
設置編：別冊の「設置・接続編」のページです。

リモコン操作

リモコンが働かない

症状	対処のしかた	参照ページ 操作編	参照ページ 設置編
リモコンで本機を操作できない。	● 電池を交換してください。 ● 電池の⊕⊖を正しい向きに入れてください。 ● スタンバイランプが赤色に点灯していないときは、本体の電源スイッチを押してください。 ● リモコンを本機のリモコン受光部/明るさセンサーに正しく向けて、近くから操作してください。 ● リモコン受光部/明るさセンサーに蛍光灯などの強い照明があたっているときは、照明があたらないように、照明器具または本機の位置を調整してください。 ● 近くに電子レンジがあるときは操作できないことがあります。		16 16
リモコンの①～⑫の数字ボタンを押しても、チャンネルが選べない。	**ワンタッチ選局の場合** ● 数字ボタンを押す前に、見たい放送（地上アナログ、地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル）に切り換えましたか？ **10キー選局の場合** ● 数字ボタンを押す前に、見たい放送（地上アナログ、地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル）に切り換えましたか？ ● デジタル放送のときは、10キーを押してから数字ボタンを押しましたか？ ● 地上アナログのときは、「選局」を「10キー」にしてください。 ● 地上デジタルのチャンネルでチャンネル番号に枝番があるときは、チャンネル番号を入力した後で、⑪を押してから枝番を入力してください。 ● 11チャンネルは①を2回、12チャンネルは①と②を続けて押してから、⑫を押してください。 ● ①～⑩の数字ボタンに続けて⑫を押してください。	10～13 10～13 11 10 11	
リモコンの①～⑫の数字ボタンやチャンネル＋/－ボタン、消音ボタン、地上アナログ/地上デジタル/BS/CSボタンを押すと本機の電源が入る。	● 故障ではありません。電源スイッチ以外にも左記のボタンで本機の電源を入れることができます。	24	

エラーメッセージ一覧

本機では、エラー症状に合わせたメッセージが表示されます。主なメッセージと対処法については下記をご覧ください。

メッセージ一覧

メッセージ	対処法
● 入力する信号を変更してください	● パソコンの入力信号が未対応または推奨でない信号です。☞23ページ
● 衛星アンテナがショートしました　取扱説明書をご覧ください	●「故障かな？と思ったら」の「電源ランプが緑色に点滅する」をご覧になり、対処してください。☞50ページ
● 無操作電源オフによりまもなく電源が切れます	● 無操作電源オフの設定により電源が切れます。☞37ページ

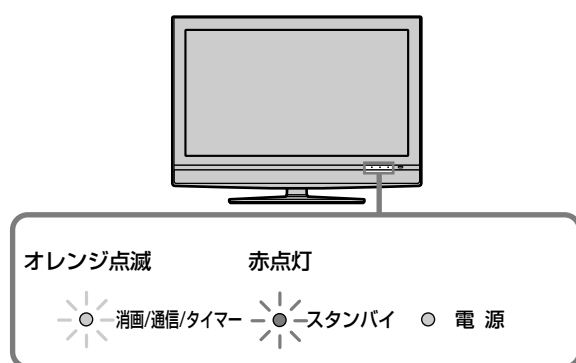
デジタル放送特有のメッセージ一覧

メッセージ	対処法
● 衛星アンテナがショートしたため　衛星アンテナ電源の設定を「切」にしました　取扱説明書をご覧ください	●「故障かな？と思ったら」の「電源ランプが緑色に点滅する」をご覧になり、対処してください。☞50ページ
● 受信できるチャンネルがありません　地上デジタルに対応したアンテナを設置後、地上デジタルの受信設定を行ってください	● 地上デジタルの受信設定を行ってください。☞「設置･接続編」33ページ
● BS（CS）受信できません　大雨･大雪の影響やアンテナの調整ズレなどの場合もあります　E202	● 受信レベルが低く信号が受信できません。天候の影響などで受信障害が起きていませんか？　放送されていないチャンネルか、アンテナの設定や調整が正しくできていない場合があります。☞「設置･接続編」23、36ページ
● 降雨対応放送に切り換わりました　E201	● 雨などの影響により、衛星からの電波が弱くなったため、降雨対応放送に切り換わりました。画質や音質が低下した状態で受信します。☞57ページ
● 信号レベルが低下しています　視聴できる状態ではありません　E201	● 一時的に受信レベルが低下しています。しばらくお待ちください。
● B-CASカードに必要な情報がありません　ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください　コード:	● 選局した番組は未契約です。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまでご連絡ください。☞「設置･接続編」38ページ
● このデータ放送は視聴条件により視聴できません	● データ放送がお住まいの地域の設定などによって視聴できません。
● B-CASカードとのアクセスが成立しません　カードを抜き差ししても直らない場合はカスタマーセンターに連絡してください　コード:	● B-CASカードの入れる向きが前後、表裏逆向きになっていないか確かめてから、もう一度しっかり入れ直してください。☞「設置･接続編」20ページ 入れ直してもメッセージが表示されるときは、ご覧になっているデジタル放送の放送局や110度CSの衛星サービス会社のサービスセンターへお問い合わせください。☞「設置･接続編」38ページ ● B-CASカードが破損している場合は、ご覧になっているデジタル放送の放送局や110度CSの衛星サービス会社のサービスセンターまたはB-CASカスタマーセンター（電話番号0570-000-250）へお問い合わせください。 ● B-CASカード以外は使えません。
● 購入可能時間が過ぎているため追加信号は購入できません　コード:	● 番組開始後の限られた時間のみ購入できる番組です。
● B-CASカードを入れてください	● B-CASカードを正しく入れてください。☞「設置･接続編」20ページ
● 本機ではデータを表示できません　E401	● 別のデータ放送チャンネルを選局してください。
● 本機ではこのサービスには対応していません　E200	● 放送チャンネルではないため、このチャンネルは視聴できません。
● このチャンネルは現在休止中です　E203	● 放送を休止しているチャンネルを選局しています。
● 該当するチャンネルはありません　E204	● 放送のないチャンネルを選局しています。
● チャンネルが設定されていません	● ワンタッチ選局に、チャンネルが割り当てられていない数字ボタンを押しています。☞「設置･接続編」32、34、37ページ

電源スタンバイ中のランプの点灯・点滅について

電源スタンバイ中(スタンバイランプが赤色に点灯)、以下のデータを受信したときに、「カチッ」と音がして、**本機前面の消画/通信/タイマーランプが長時間にわたり点滅し続けることがあります。**

- デジタル放送を正しく受信するためにデジタル放送から送られてくるデータの受信中および最新のソフトウェアのダウンロード中
- 放送局が送信する番組表などの番組情報データ取得中
- 放送局が送信する有料放送の契約・購入状況、双方向サービス情報の取得中

ダウンロード中/データ取得中の表示

消画/通信/タイマーランプ点滅中は、本機内部の回路が自動的に動作し、データ受信とソフトウェアの書き換えを行っていますが、**受信するデータによっては数時間かかる**ことがあります。

データ受信やソフトウェアの書き換えが終了すると、自動的に電源スタンバイ状態に戻り、消画/通信/タイマーランプも消灯します。

展示モードの表示について

お買い上げ時に本機の展示モードが「入」に設定されていることがあります。画面左下に「展示モード」または「展示モード：入」と表示されたときは、下記のいずれかの方法で展示モードを解除してください。

－個人情報の初期化を行う

☞「設置・接続編」の「視聴年齢制限を設定する・個人情報を消去する」

－地上アナログのチャンネルスキャンを行う

☞「設置・接続編」の「準備7：地上アナログ放送の設定をする」→「自動でチャンネルを設定する」

困ったときは

デジタル放送について

アンテナについて

地上デジタルを受信するには、UHFアンテナが必要です。
現在お使いのUHFアンテナでも地上デジタルを受信できます。
ただし、地上デジタルのチャンネルによってはアンテナなどの交換や調整が必要となる場合があります。詳しくは、お買い上げ店にお問い合わせください。
なお、ケーブルテレビで受信･視聴するときは、UHFアンテナは不要です。

ケーブルテレビ（CATV）について

地上デジタルは、ケーブルテレビでも受信･視聴できます。
お住まいの地域のケーブルテレビで地上デジタルが放送開始されているかは、ケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。なお、ケーブルテレビ放送会社によって送信方式が異なりますが、本機はパススルー方式のすべての周波数に対応しています。

BS･110度CSデジタル放送について

- 高画質･高音質で、各種テレビ放送･データ放送･ラジオ放送が楽しめます。
- BSデジタルの有料放送や110度CSデジタルは受信契約が別途必要です。

B-CASカード（デジタル放送用ICカード）について

デジタル放送（地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル）を視聴するときは、B-CASカードを必ず挿入してください。

- 2004年4月から、番組の著作権保護のためにB-CASカードを利用しています。
  B-CASカードを挿入しないと、すべてのデジタル放送を視聴できなくなります。
- 2004年4月からデジタル放送には、「一回だけ録画可能」のコピー制御信号が加えられています。詳しくは、「録画制限と著作権保護について」（☞61ページ）および録画機器の取扱説明書をご覧ください。

1つの放送局でのマルチ放送について

地上デジタルとBSデジタルでは、1つの放送局が、デジタルハイビジョン信号HDの1チャンネル放送と、標準テレビ信号SDの複数チャンネル(2～5チャンネル)放送を、右の図のように時間帯によって切り換えるマルチ放送とがあります。

それぞれのチャンネル(191ch、192ch、193ch)で同じ番組が放送されます(イベント共有)。時刻別番組表(☞14ページ)を見るときや、チャンネル+/−ボタンでチャンネルを選ぶときは、代表チャンネルのみが表示されます。

HD デジタルハイビジョン信号

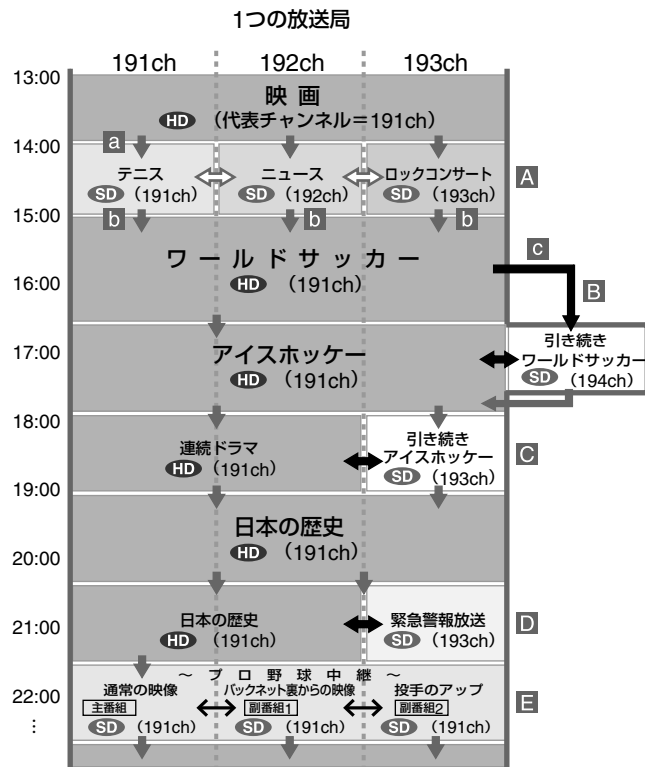
SD 標準テレビ信号

➡ 自動的に切り換わる

⇨ チャンネル+/−ボタンで切り換える

➡ 数字ボタンでチャンネル番号を入力して切り換える

→ ツールの「映像切換」で切り換える

右記の番組はフィクションであり、実際の放送局での放送内容とは関係ありません。

A 複数のチャンネルで違う番組を同時に放送
[マルチチャンネル放送]
上の例のように、同じ放送局の別々のチャンネルで、テニス、ニュース、ロックコンサートなどのようにそれぞれ違う番組を同時間帯に放送します。
a マルチチャンネル放送開始/b マルチチャンネル放送終了

B 延長した番組を最後まで放送
[臨時放送]
上の例のように、サッカー中継が予定放送時間内に終わらないときに、同じ放送局の別チャンネルで引き続き試合終了まで放送し、元のチャンネルでは予定どおり、後番組のアイスホッケーを放送します。
c 臨時放送開始

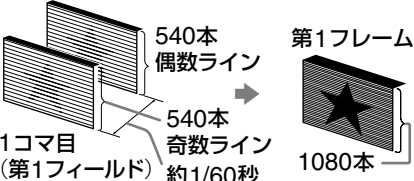
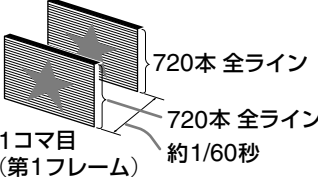
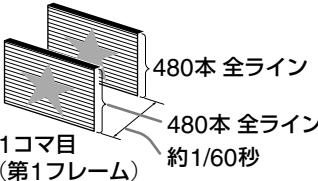
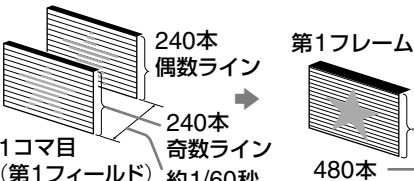
C 他のチャンネルで引き続き放送
[イベントリレー]
放送中の番組が終了したあと別チャンネルで引き続き放送を行うときは、お知らせが表示されます。見るときは、「選局する」を選んでください。時間になると自動的に切り換わります。

D 地震などの災害時に特別番組を放送
[緊急警報放送]
警戒警報や津波警報が発令されたときなどは、別チャンネルで緊急警報放送を行っていることの案内が表示されます。見るときは、「はい」を選んでください。

E さまざまな角度から番組を放送
[マルチビュー放送]
上の例のように、プロ野球中継で、同じチャンネルのまま、最大3方向(通常の映像、バックネット裏からの映像、投手のアップ)の画面を見ることができます。ツールから「映像切換」を選びます。

雨天など受信状態が悪いときのBS・110度CSデジタル放送[降雨対応放送]
お買い上げ時は、「降雨対応放送に切り換わりました」と表示され、画質や音質が通常放送に比べ低下した状態で引き続き受信するように、メニューの「降雨対応放送受信」が「オート」に設定されています。

ちょっと一言

降雨対策放送に切り換わらないようにするには

メニューから「テレビの設定をする」→「(デジタル放送設定)」→「デジタル放送設定」→「受信設定」→「BS・CSデジタル設定」→「降雨対応放送受信」→「切」の順に選ぶ。

次のページにつづく⇨

デジタル放送について(つづき)

画像について

下記のように**全部で4種類の画像方式があります。**

画像方式	説明
1125i(1080i)のデジタルハイビジョン信号 HD	1125本(1080本)の走査線*1を約1/60秒ごとに奇数ラインと偶数ラインを交互に流す(飛び越し走査:インターレース方式*1)画像方式。 2コマ目(第2フィールド) 540本 偶数ライン 第1フレーム 540本 奇数ライン 約1/60秒 1コマ目(第1フィールド) 1080本
750p(720p)のデジタルハイビジョン信号 HD	750本(720本)全部の走査線を順番どおりに描く(順次走査:プログレッシブ方式*1)画像方式。画面や文字のちらつきが少ないため、静止画放送に適しています。 2コマ目(第2フレーム) 720本 全ライン 720本 全ライン 約1/60秒 1コマ目(第1フレーム)
525p(480p)の標準テレビ信号 SD	525本(480本)全部の走査線を順番どおりに描く(プログレッシブ方式*1)画像方式。画面や文字のちらつきが少なくなります。 2コマ目(第2フレーム) 480本 全ライン 480本 全ライン 約1/60秒 1コマ目(第1フレーム)
525i(480i)の標準テレビ信号 SD	525本(480本)の走査線を約1/60秒ごとに奇数ラインと偶数ラインを交互に流す(インターレース方式*1)画像方式。地上アナログやBSアナログと同等の解像度です。 2コマ目(第2フィールド) 240本 偶数ライン 第1フレーム 240本 奇数ライン 約1/60秒 1コマ目(第1フィールド) 480本

iはインターレース(飛び越し走査)、pはプログレッシブ(順次走査)の略。( )内は有効走査線数*1で数えたときの別称です。
*1の詳しい説明は、用語集(☞64 ~ 65ページ)をご覧ください。

音声について

デジタル放送には、次のような音声モードがあります。

音声モード	説明
モノラル	通常のニュース放送などに使われています。
ステレオ	音楽番組などに使われています。
3/1サラウンド 3/2サラウンド 5.1サラウンド	映画などに使われています。
圧縮Bモード	CDと同等の高音質になります。モノラルやステレオ、サラウンドが圧縮Bモードで送信されるときは番組説明(☞19ページ)に「圧縮Bモード」と表示されます。

また、上記の音声の他にも、二か国語番組などの二重音声や、音声信号が複数ある番組の第2音声などがあります。

本機のスピーカーから聞こえる音声

5.1chサラウンドなどの音声は、通常のステレオ放送(2ch)に変換されます。

ダウンロードの流れについて

自動でデジタル放送からダウンロードする機能について

電源スタンバイ中(スタンバイランプが赤色に点灯)に、本機内部のソフトウェアを最新の内容に自動で書き換える機能です。ソフトウェア書き換え用のデータ信号は、デジタル放送電波の中に含まれて送信されます。

お買い上げ時は、本機がダウンロードを自動で行う設定(「デジタル放送からのダウンロード」が「オート」)になっているため、お客様が操作や設定することなく、常に最新版に更新されたソフトウェアで、デジタル放送を正しく受信し、お楽しみいただけます。

次の2つの条件を満たしていれば、電源スタンバイ中に、自動でダウンロードが行われます

条件1 衛星アンテナの現在の受信レベルが『20以上』になっている。または、地上デジタルを安定して受信できている。

衛星アンテナレベルが20未満のとき、または地上デジタルが安定して受信できていないときは、ダウンロードが正しく行われません。衛星アンテナのときはアンテナの向きを調整して、受信レベルを20以上にしてください。地上波アンテナのときはお買い上げ店にご相談ください。

アンテナの受信レベルを確認するには

メニューの「地上デジタルアンテナレベル」および「衛星アンテナレベル」画面に表示されます。

衛星アンテナのときは、20以上であれば、ダウンロードが正しく行われます。

「地上デジタルアンテナレベル」画面を表示するには

メニューから「テレビの設定をする」→「(デジタル放送設定)」→「デジタル放送設定」→「受信設定」→「地上デジタル設定」→「地上デジタルアンテナレベル」の順に選ぶ。

「衛星アンテナレベル」画面を表示するには

メニューから「テレビの設定をする」→「(デジタル放送設定)」→「デジタル放送設定」→「受信設定」→「BS·CSデジタル設定」→「衛星アンテナレベル」の順に選ぶ。

条件2 「デジタル放送からのダウンロード」が「オート」の設定*1になっている。

「デジタル放送からのダウンロード」が「しない」に設定されていると、ダウンロードが行われません。

「デジタル放送からのダウンロード」を設定するには

メニューから「テレビの設定をする」→「(デジタル放送設定)」→「デジタル放送設定」→「その他設定」→「デジタル放送からのダウンロード」→「オート」の順に選ぶ。

*1 お買い上げ時の設定です。

次のページにつづく⇨

ご注意

- 手動ではダウンロードできません。
- ダウンロードを行わないように設定すると、デジタル放送が正しく受信できなくなることがあります。そのため、自動でダウンロードできる設定のままお使いいただくよう、強くおすすめします。**そのときは必ず本機を電源スタンバイ状態にしておいてください。**
- 本体の電源スイッチを押して主電源を切ると、ダウンロードは行われません。
- お買い上げ時は「地上デジタル設定」の「自動チャンネル変更」が「する」に設定されているため、新しく放送局が開設されたときなどは、ダウンロードによって受信できる放送のチャンネル番号などが自動的に変わります。

メニューから「テレビの設定をする」→「(デジタル放送設定)」→「デジタル放送設定」→「受信設定」→「地上デジタル設定」→「自動チャンネル変更」→「する」の順に選ぶ。

ダウンロードの流れについて（つづき）

ダウンロードが行われるときは

デジタル放送からソフトウェア書き換え用のデータ信号を受信したときは、「**ダウンロードのお知らせ**」**のメールが届き**、本体の電源スイッチで主電源を入れたときに画面右下に✉が表示されます。

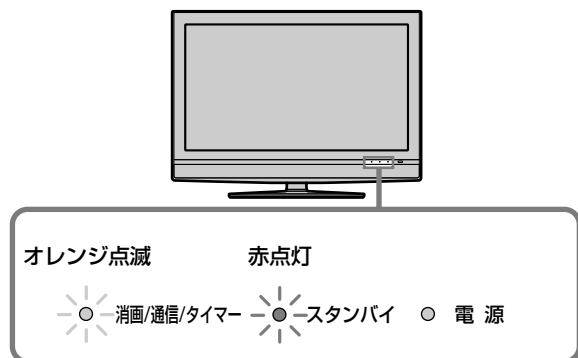
メールを確認するには

メニューから「テレビの設定をする」→「(各種設定)」→「お知らせ」→「本機からのメール」の順に選ぶ(☞26ページ)。

ダウンロードの実行中は

ダウンロードは電源スタンバイ時（スタンバイランプが赤色に点灯）にのみ、自動的に行われます。

電源スタンバイ中、数時間ごとに、デジタル放送から数分程度のソフトウェア書き換え用のデータ信号が送信され、本機がその信号を受信し、本機内部のソフトウェアを最新の内容に自動で書き換えます。書き換えは、30分前後かかります（内容により時間は異なります）。

また、ダウンロード中は、本機前面の消画/通信/タイマーランプが点滅します。

ダウンロードについてのQ&A

「1回目の信号でうまくダウンロードできなかったら？」
ご安心ください。ソフトウェア書き換え用のデータ信号は、一定の期間内に何回も送信されます。

「電源コードを抜いておくとダウンロードされないの？」
電源コードが抜かれていたり、本体の電源スイッチで主電源を切ったりしたときは、ダウンロードは行われません。

「ダウンロード中に主電源を切るとどうなるの？」
ダウンロード中は、本体の電源スイッチで主電源を切ったり、電源コードを抜いたりしないでください。ダウンロードの中断により、ソフトウェアの書き込みが途中で終了し、誤動作を起こす場合があります。

「ダウンロードによって、設定内容がお買い上げ時の状態に戻ったりしないの？」
ご安心ください。お客様が設定した内容は書き換えられることなく、保持されます。

バージョンアップが正常に終了すると

「ダウンロードのお知らせ」のメールが自動的に削除され、そのかわりに、「**バージョンアップ終了のお知らせ**」**のメールが届きます。**

メールを確認するには

メニューから「テレビの設定をする」→「(各種設定)」→「お知らせ」→「本機からのメール」の順に選ぶ(☞26ページ)。

ご注意

ダウンロード中は、本機の電源を入れたり、本体の電源スイッチで主電源を切ったり、電源コードを抜いたりしないでください。ダウンロードの中断により、ソフトウェアの書き込みが途中で終了し、誤動作を起こす場合があります。

録画制限と著作権保護について

デジタル放送では、番組の著作権を保護し、不正コピーやインターネットへの不正な配信を防ぐため、コピー制御信号を番組に多重し、暗号をかけて放送されております。同梱されているB-CASカードは必ず挿入してください。

デジタル放送の番組には次のような「コピー制御信号」が付加されております

● **録画禁止**

「録画禁止」の番組は、著作権が保護されているためデジタル録画できません。地上デジタルやBSデジタルの無料放送は、VHSなどのアナログ録画機器で録画できますが、BSデジタルの有料放送や110度CSデジタルは、番組によってアナログ録画できない場合があります。

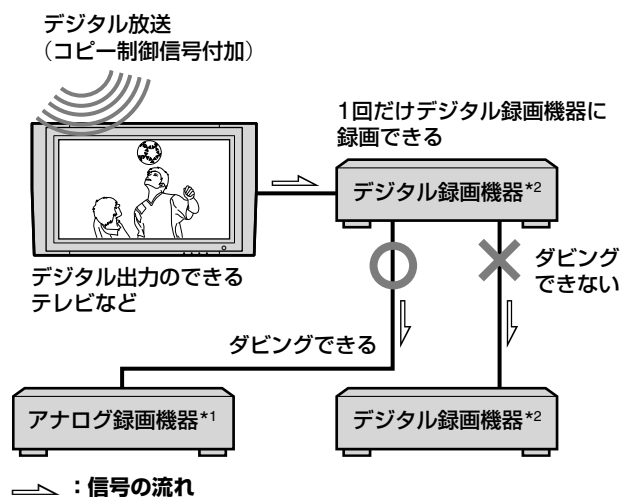
● **1回だけ録画可能**

「1回だけ録画可能」な番組は、著作権保護技術に対応した録画機器及び記録メディアにてデジタル録画できます。しかし、デジタル録画した番組をさらにデジタル録画(コピー)することはできません。VHSなどのアナログ録画機器では録画に制約はありません。

● **録画可能**

個人的に利用される場合に限って、制限なしに録画可能です。

番組説明(☞19ページ)の番組情報欄で「コピーコントロール」情報を確認してください。

「1回だけ録画可能」の例

*1 VHS、8mmなど
*2 DVDレコーダー、ハードディスクレコーダー、D-VHSなど

「1回だけ録画可能」な番組の録画について

録画機器	接続方法	録画制限
DVDレコーダーやハードディスクレコーダーなど	アナログ接続(映像・音声コード)	録画可能*3
VHSなど	アナログ接続(映像・音声コード)	録画可能

*3 DVDレコーダーでは、CPRM対応の録画用DVD-RWディスクを使用して、VRモードでのみ録画できます。また、CPRM対応のDVD-RAMディスクを使用しても録画できます。

アナログ接続で録画するときの録画制限について

本製品は、マクロビジョン社が保有する米国特許及びその他知的財産権によって保護されている著作権保護技術を採用しております。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部観賞用の使用に制限されています。分解、解析したり、改造することも禁じられております。

光デジタル音声出力における録音制限について

著作権が保護されている番組では、光デジタル音声出力からの信号を録音できない場合があります。

録画防止機能について

本機は、録画防止機能(コピープロテクション)が付いています。そのため、番組によっては、正常な画像で録画できなかったり、録画したものを正常な画像で再生できなかったりすることがあります。また、本機の映像信号を、録画機器を経由して外部モニターに出力すると、録画防止機能のため画像が乱れる場合があります。その場合、本機の映像出力端子から外部モニターに直接接続してください。

あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できませんのでご注意ください。

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げの店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
  ただし、液晶パネルは2年間。
- 本機のメモリーに保存されたデータは、保証の対象外です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「困ったときは」の項を参考にして、故障かどうかをお調べください。

それでも具合が悪いときはサービス窓口へ

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にある、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
BSデジタル、110度CSデジタルの放送局との受信契約や番組に関しては、ご覧になりたい放送局のカスタマーセンターや衛星サービス会社、B-CASカスタマーセンター(電話番号0570-000-250)に問い合わせてください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、カラーテレビの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとでも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、ソニーサービス窓口にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

型名: KDL-32V2000
KDL-40V2000
KDL-46V2000
型名について詳しくは、☞41ページをご覧ください。
故障の状態:できるだけくわしく
購入年月日:

お買い上げ店 TEL.
お近くのサービスステーション TEL.

This television is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

用語集

五十音順

ア行

イベントリレー（☞57ページ）

番組の開始時間がくり下がったときや、番組放送中に割り込みがあったとき、番組が放送時間内に終わらなかったときなどに、引き続き他のチャンネルで放送が継続されることです。

インターレース（飛び越し走査）（☞58ページ）

走査線525本のうち、まず奇数番目の走査線（262.5本）を1/60秒かけて描き（この1画面を1フィールドという）、次にその間を埋めるように偶数番目の走査線（262.5本）を描き、合わせて走査線525本の1枚の完全な画面（フレーム）を作っていく飛び越し走査のことです。

カ行

緊急警報放送（☞57ページ）

地上デジタル、BSデジタルの標準テレビ信号SDのマルチ放送を利用した放送です。
緊急警報放送には、地震などの災害時に放送される緊急ニュース番組などがあります。

ケーブルテレビ（CATV）（☞56ページ）

契約者と放送局をケーブルで直接結んで番組を提供する有線放送です。地上アナログのテレビ番組や地上デジタル、BSアナログに加え、スポーツや映画の専門チャンネル、地域情報番組や文字放送などを見ることができます。

降雨対応放送（☞57ページ）

激しい雨による映像·音声の遮断を防ぐために、通常の放送に並行して、降雨に強い方式で同じ番組を送るものです。
本機では、お買い上げ時、番組によって降雨対応放送に自動的に切り換わるように設定されています。
降雨対応放送は、画質や音質が通常の放送に比べ低下します。

サ行

識別制御信号（☞35ページ）

識別制御信号とは、オリジナル映像の横縦比をテレビで忠実に再現するためのコントロール信号です。この信号を含んだ映像には、次のものがあります。
– デジタル放送の標準テレビ信号SD
– 横縦比情報の入ったビデオカメラなどの記録映像（ID-1方式やS2方式）
– D4入力端子からの横縦比情報の入った映像

字幕放送（☞24ページ）

画面上に、セリフなどの字幕を表示できる放送です。
本機では、字幕を入/切したり、字幕の言語を切り換えたりできます。

走査線（☞58ページ）

テレビは、映像を細かい横線に分解して送ることで画面を作っています。この線のことを走査線と呼び、走査線によって、どのように画面を作っていくかで、インターレースやプログレッシブなどの方式があります。

タ行

地上デジタル（☞11ページ）

2003年12月に一部地域で放送が開始された、地上波によるデジタル放送です。UHFの周波数帯域を利用して送信されます。
デジタル信号で大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質·高音質で楽しめます。デジタルハイビジョン信号HDによるテレビ放送や、また文字や画像などのデータ放送などがあります。

デジタルハイビジョン信号HD（☞58ページ）

デジタル放送の画像方式で、1125iと750pがあり、大画面になっても走査線（テレビ画面を水平に走る線）が目立たなく、35mm映画なみの臨場感あふれる高精細画質を楽しめます。

ハ行

ビスタビジョン（☞35ページ）

画面の横縦比が1.85:1になっている映像ソフトのことです。一般的には画像の中に字幕が入る映画などに使われています。

標準テレビ信号SD（☞58ページ）

デジタル放送の画像方式で、525pと525iがあり、525iは地上アナログと同等の画質です。

プログレッシブ（順次走査）（☞58ページ）

飛び越し走査（「インターレース」の項目を参照）をしないで、1フレーム目で525本全部の走査線を順番どおりに描き、次のフレームも同じ場所を525本全部の走査線で描いていく順次走査のことです。

ペイパービュー（有料番組）（☞27ページ）

「見るたびに支払う」という意味で、1回視聴するごとに購入する番組のことです。

マ行

マルチチャンネル放送（☞57ページ）

地上デジタルやBSデジタルの標準テレビ信号SDのマルチ放送を利用した放送です。
同じ放送局の複数のチャンネルで、それぞれ違う番組を放送する場合と、同じ放送局の別のチャンネルで臨時放送を行う場合があります。

マルチビュー放送（☞57ページ）

地上デジタルやBSデジタルの標準テレビ信号SDのマルチ放送を利用した放送です。
生中継の番組などで、最大3つの映像を同じチャンネルで楽しめます。
ツールから「映像切換」を選ぶと、それぞれのカメラからの映像を切り換えて見ることができます。

ヤ行

有効走査線数(☞58ページ)

走査線のうち、映像信号が載っている走査線の数のことを言います。地上アナログでは、525本ある走査線のうち有効走査線数は480本です。BSアナログのハイビジョン放送では同じく1125本中1035本、デジタルハイビジョン信号HDでは、1125本中1080本となっています。
なお、有効走査線に含まれていない残りの走査線(映像信号の載っていない走査線)には、画面の横縦比を規定した識別制御信号などが載っています。

ラ行

臨時放送(☞57ページ)

地上デジタルやBSデジタルの標準テレビ信号SDのマルチ放送を利用した放送です。
同じ放送局の別のチャンネルで、臨時放送を行います。

数字・アルファベット順

110度CS(CS1、CS2)デジタル(☞11ページ)

2002年3月から始まった、110度デジタル衛星N-SAT-110によってデジタル信号で映像や音声を流す放送のことです。デジタル信号で大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめます。テレビ放送に加え、文字や画像などのデータ放送、音楽CD並みの高音質なラジオ放送などがあります。

5.1ch(チャンネル)(☞32、58ページ)

左フロント、右フロント、センター、左リア、右リアの5本のスピーカーとサブウーファーから、それぞれ独立した音声を出力できるサラウンド方式です。
本機の光デジタル音声出力端子に5.1ch対応のオーディオ機器をつなぐと、本機が受信した5.1chサラウンドの音声を楽しめます。

AAC(☞33ページ)

デジタル放送で標準に定められたデジタル音声方式です。「アドバンスド・オーディオ・コーディング(Advanced Audio Coding)」の略で、高い圧縮率で音楽CD並みの音質を実現します。

B-CASカード(デジタル放送用ICカード)(☞56ページ)

プラスチック・カードに集積回路を埋め込んだものです。チャンネルの契約、購入内容などの情報がB-CASカードに記憶されます。記憶された情報は、電話回線を通じて放送局に送信されます。

BSデジタル(☞11ページ)

2000年12月から始まった、放送衛星(BS)によってデジタル信号で映像や音声を流す放送のことです。デジタル信号で大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめます。デジタルハイビジョン信号HDによるテレビ放送や、また文字や画像などのデータ放送、音楽CD並みの高音質なラジオ放送などがあります。

HDMI(☞20ページ)

テレビ接続機器のデジタル映像・音声信号を直接つなぐインターフェースです。
HDMI端子(DVDプレーヤー、AVアンプなど)とテレビを1本のケーブルで接続することで高画質な映像とデジタル音声を楽しめます。
対応している映像信号:
525i(480i)、525p(480p)、1125i(1080i)、750p(720p)
対応している音声信号:
リニアPCM 32kHz、44.1kHz、48kHz

ID-1方式(ビデオID-1システム)(☞35ページ)

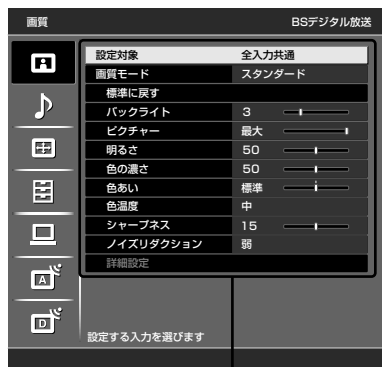
ビデオ信号の一部にデジタルのID信号を加算することにより、画面の横縦比(16:9、4:3またはレターボックス)の情報を記録するシステムの名前です。本機はID-1方式に対応しています。ID-1方式対応のビデオカメラやビデオデッキなどを、本機のビデオ1~3入力端子につなぐと、ID-1方式の画像となります。ただし、あらかじめビデオカメラなどで「ワイドTV」モードを「入」にして録画した画像に限ります。

PCM(☞33ページ)

アナログ音声をデジタル音声に変換する方式です。「パルス・コード・モジュレーション(Pulse Code Modulation)」の略で、手軽にデジタル音声を楽しめます。

S2映像端子(S2方式)(☞35ページ)

S映像のC端子へ直流電圧を加算することにより、画面の横縦比(16:9または4:3)の情報を記録するシステムの名前です。
縦長に圧縮された画像は「フル」モードに、レターボックスの映像は「ズーム」モードに自動的に戻す識別制御信号が入っています。本機はS2方式に対応しています。
S2映像出力端子が付いたビデオカメラなどを、本機のS2映像入力端子につなぐと、S2方式の画像となります。ただし、あらかじめビデオカメラなどで「ワイドTV」モードを「入」にして録画した画像に限ります。

索引（操作・困ったときは編）

索引では、メニューの項目を[XX]のようにあらわします。

五十音順

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

数字・アルファベット順

その他